

中部大学学則

第1章 目的

第1条 中部大学(以下「本学」という。)は、教育基本法並びに建学の精神にのっとり、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力をもつ有為な人材を育成し、もって人類・社会の発展と学術・文化の進展に寄与することを目的とする。

第2章 学部・学科及び収容定員

第2条 本学に置く学部・学科は次のとおりとし、学生はその一学部・学科を専修するものとする。

| | |
|---------|---|
| 工学部 | 機械工学科、電気システム工学科、都市建設工学科、建築学科、電子情報工学科、応用化学科、情報工学科、ロボット理工学科 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科、経営学科、経営会計学科 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科、国際文化学科、中国語中国関係学科 |
| 人文学部 | 日本語日本文化学科、英語英米文化学科、コミュニケーション学科、心理学科、歴史地理学科 |
| 応用生物学部 | 応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学科（食品栄養科学専攻、管理栄養科学専攻） |
| 生命健康科学部 | 生命医科学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、スポーツ保健医療学科 |
| 現代教育学部 | 幼児教育学科、児童教育学科 |

2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

第3条 本学の学部及び学科の収容定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|--------|-----------|------|----------|-------|
| 工学部 | 機械工学科 | 160 | 2 | 644 |
| | 電気システム工学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 都市建設工学科 | 60 | 2 | 244 |
| | 建築学科 | 110 | 2 | 444 |
| | 電子情報工学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 応用化学科 | 90 | 2 | 364 |
| | 情報工学科 | 120 | 2 | 484 |
| | ロボット理工学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 計 | 780 | 16 | 3,152 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 110 | 2 | 444 |
| | 経営学科 | 110 | 2 | 444 |
| | 経営会計学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 計 | 300 | 6 | 1,212 |

| | | | | |
|---------|-------------|-----|----|-------|
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 50 | 2 | 204 |
| | 国際文化学科 | 50 | 2 | 204 |
| | 中国語中国関係学科 | 40 | 1 | 162 |
| | 計 | 140 | 5 | 570 |
| 人文学部 | 日本語日本文化学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 英語英米文化学科 | 70 | 2 | 284 |
| | コミュニケーション学科 | 70 | 2 | 284 |
| | 心理学科 | 90 | 2 | 364 |
| | 歴史地理学科 | 90 | 2 | 364 |
| | 計 | 400 | 10 | 1,620 |
| 応用生物学部 | 応用生物化学科 | 110 | 2 | 444 |
| | 環境生物科学科 | 110 | 2 | 444 |
| | 食品栄養科学科 | | | |
| | 食品栄養科学専攻 | 60 | 2 | 244 |
| | 管理栄養科学専攻 | 80 | 0 | 320 |
| | 計 | 360 | 6 | 1,452 |
| 生命健康科学部 | 生命医科学科 | 60 | 0 | 240 |
| | 保健看護学科 | 100 | 0 | 400 |
| | 理学療法学科 | 40 | 0 | 160 |
| | 作業療法学科 | 40 | 0 | 160 |
| | 臨床工学科 | 40 | 0 | 160 |
| | スポーツ保健医療学科 | 80 | 0 | 320 |
| | 計 | 360 | 0 | 1,440 |
| 現代教育学部 | 幼児教育学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 児童教育学科 | 80 | 2 | 324 |
| | 計 | 160 | 4 | 648 |

第4条 削除

第3章 修業年限・学年・学期及び休業日

第5条 本学の修業年限は4年とし、在学期間は通算8年を超えてはならない。

第6条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

第8条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業又は試験を実施することがある。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 開学記念日 11月19日

- (4) 学園創立記念日 12月8日
 - (5) 春季休業日
 - (6) 夏季休業日
 - (7) 冬季休業日
- 2 前項第5号から第7号までの休業期間は、別に定める。
- 3 必要がある場合は、第1項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 教育課程・履修方法及び単位認定

第9条 本学の学部・学科の教育課程は、別表2のとおりとする。

- 2 学生は、所属する学部・学科所定の教育課程を履修しなければならない。
- 3 学生は、前項に定める教育課程のほか、他の学部・学科が開設する授業科目を履修することができる。

第9条の2 学生は、本学が定める科目群の授業科目を副専攻として履修することができる。

- 2 副専攻の種類、科目群その他の必要事項は、別に定める。

第9条の3 本学に日本語教員養成講座を置く。

- 2 日本語教員養成講座の授業科目その他の必要事項は、別に定める。

第10条 本学が教育上有益と認めるときに限り、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下「他の大学」という。)との協議に基づき、学生は学長の許可を得て当該大学の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により履修し、修得した授業科目の単位は60単位を超えない範囲で、本学卒業に必要な単位に算入する。
- 3 他の大学での履修の期間は、原則として1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、協議の上、更に1年以内に限り延長することができるが、履修の期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 4 他の大学での履修の期間は、本学の在学期間に算入する。

第10条の2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学長の許可を得て、学生が短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を行った場合は、本学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第11条 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における履修とみなし必要な単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学等の場

合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第10条第2項及び前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第11条の2 第52条の2の規定による科目等履修生(大学の学生以外の者に限る。)として一定の単位を修得した者が本学に入学した場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したものと認められるときは、修得した単位数、その修得に要した期間等を勘案して、2年を超えない範囲の期間をその者の修業年限に通算することができる。

第12条 教育課程の授業科目は、全学共通教育科目及び学部教育科目に分ける。

第13条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

| 学部・学科 | | 免許状の種類 |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 工学部 | 機械工学科 電気システム工学科 都市建設工学科 建築学科 | 高等学校教諭一種免許状(工業) |
| 工学部 | 電子情報工学科 | 高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報) |
| 工学部 | 情報工学科 | 高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報) |
| 工学部 | 応用化学科 | 高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(理科) |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 高等学校教諭一種免許状(情報) |
| 経営情報学部 | 経営学科 | 高等学校教諭一種免許状(商業) |
| 経営情報学部 | 経営会計学科 | 高等学校教諭一種免許状(商業) |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) |
| 国際関係学部 | 国際文化学科 | 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民) |
| 国際関係学部 | 中国語中国関係学科 | 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(中国語) |
| 人文学部 | 日本語日本文化学科 | 中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語) |
| 人文学部 | 英語英米文化学科 | 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語) |

| | | |
|---------|---------------------|---|
| 人文学部 | コミュニケーション学科 | 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民) |
| 人文学部 | 心理学科 | 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民) |
| 人文学部 | 歴史地理学科 | 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) |
| 応用生物学部 | 応用生物化学科 | 高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科) |
| 応用生物学部 | 環境生物科学科 | 高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科) |
| 応用生物学部 | 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 | 高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科) |
| 応用生物学部 | 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 | 栄養教諭一種免許状 |
| 生命健康科学部 | 生命医科学科 | 高等学校教諭一種免許状(保健) |
| 生命健康科学部 | 保健看護学科 | 養護教諭一種免許状 |
| 現代教育学部 | 幼児教育学科 | 幼稚園教諭一種免許状 |
| 現代教育学部 | 児童教育学科 | 小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(理科) |

第 13 条の 2 本学応用生物学部応用生物化学科、環境生物科学科又は食品栄養科学科の食品衛生コースにおいて、食品衛生法(昭和 22 年法律第 233 号)に定める所要の単位を修得した者は、同法及び同法施行令(昭和 28 年政令第 229 号)の規定に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得することができる。

2 本学応用生物学部食品栄養科学科において、管理栄養科学専攻（以下「管理栄養科学専攻」という。）の課程を履修して卒業した者は、栄養士法（昭和 22 年法律第 245 号）に規定する栄養士の免許を取得することができる。

3 管理栄養科学専攻において、栄養士法施行令（昭和 28 年政令第 231 号）及び管理栄養士学校指定規則（昭和 41 年文部・厚生令第 2 号）の規定に基づき定められた所要の単位を修得して卒業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格を取得することができる。

4 前 2 項に規定する栄養士の免許及び管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 13 条の 3 本学国際関係学部国際文化学科、人文学部日本語日本文化学科又は歴史地理学科において、学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)及び博物館法施行規則(昭和 30 年文部省令第 24 号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者のために学芸員課程を置き、課程に関する授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第13条の4 本学現代教育学部幼児教育学科において、保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行規則(昭和23年厚生省令第11号)の規定に基づき定められた所要の単位を取得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第13条の5 本学生命健康科学部保健看護学科において、保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)の規定に定める保健師国家試験の受験資格を得ようとする者は、別に定める選考を経て、保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和26年文部省・厚生省令第1号別表)に定める所要の単位を取得しなければならない。

第14条 各授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

2 学生は、その履修しようとする授業科目を定めて、あらかじめ学長に申告しなければならない。

3 前項により履修科目として申告できる単位数は、各学部・各学年ごとに別に定める単位数の上限を超えることができない。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、履修科目として申告することができる単位数の上限を超えて申告を認めることができるものとする。

第15条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習、製図、実技は、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。

第16条 一の授業科目の履修が終わったときには、試験・実習報告・実習状況・平素の学修状況等によってその成績を評価し、合格した者には、その科目の修了を認め単位を与える。

2 試験及び評価に関する事項は、別に定める。

第17条 教育課程の各授業科目の履修に係る学修進行の制限については、別に定める。

第5章 卒業及び学位

第18条 学部を卒業するには、4年以上在学し、かつ、教育課程に定める科目を履修し、別表2に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。

第19条 学部を卒業した者に学士の学位を授与する。

2 学士の学位は、専攻分野により次のとおりとする。

工学部 学士(工学)

経営情報学部 学士(経営情報学)

国際関係学部 学士(国際学)

人文学部 学士(人文学)

応用生物学部 学士(応用生物学)

生命健康科学部

生命医科学科 学士(生命医科学)

保健看護学科 学士(看護学)

理学療法学科 学士(理学療法学)

作業療法学科 学士(作業療法学)

臨床工学科 学士(臨床工学)

スポーツ保健医療学科 学士(スポーツ保健医療学)

現代教育学部 学士(教育学)

- 3 学位の授与に関しては、中部大学学位規程(昭和46年4月1日制定)の定めるところによる。

第6章 外国人留学生に関する授業科目等の特例

第20条 この章において「外国人留学生」とは、外国籍を有し、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学した者をいう。

第21条 外国人留学生に対する教育上の必要から第9条に規定するもののほか、各学部において日本語に関する科目を開設することができる。

- 2 外国人留学生に係る卒業の要件として修得すべき単位数は、第18条の規定にかかわらず、外国人留学生が日本語に関する科目を履修し、所要の単位を修得した場合は、別に定めるところにより、全学共通教育科目(教養課題教育科目に限る。)の単位に代えることができる。

第7章 入学、退学、転学、留学、休学、復学及び除籍

第22条 入学の時期は、学年の始めとする。再入学、編入学及び転入学の場合も同様とする。

第23条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了したもの
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に終了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業

程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者で、その後本学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

第 24 条 入学志願者は、所定の書類に検定料を添えて、所定の期日までに願い出なければならない。

2 入学志願の手續に関する事項は、別に定める。

第 25 条 入学を許可すべき者は、入学志願者について選考の上、決定する。

2 入学者選考に関する事項は、別に定める。

第 26 条 次の各号の一に該当する者で、本学の第 3 年次に編入学を志願する者については、選考の上、学長が入学を許可する。

(1) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者

(2) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号。以下「施行規則」という。)附則第 7 条に規定する者

(3) 短期大学を卒業した者

(4) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者

(5) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者

(6) 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上であるものに限る。)を修了した者(第 23 条に規定する入学資格を有する者に限る。)

(7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。)

2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。

3 第 24 条の規定は、第 1 項の規定により編入学を志願する場合に準用する。

第 26 条の 2 次の各号の一に該当する者は、収容定員に欠員のある場合には、選考の上、学長が相当年次に入学を許可することがある。

(1) 他の大学の学生で当該学部長又は学長の承認を得て本学に転入学を志願する者

(2) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により、学位を授与された者で本学に編入学を志願する者

(3) 施行規則附則第 7 条の規定により、本学に編入学を志願する者

(4) 短期大学を卒業した者で本学に編入学を志願する者

(5) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した

者で本学に編入学を志願する者

(6) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であるものに限る。)を修了した者で、本学に編入学を志願する者(第23条に規定する入学資格を有する者に限る。)

(7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)で、本学に編入学を志願する者

2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。

3 第24条の規定は、第1項の規定により編入学を志願する場合に準用する。

第26条の3 第26条第1項及び第26条の2第1項による入学者選考に関する事項は、別に定める。

第27条 入学を許可された者は、指定の期日までに、次の手続をとらなければならない。

- (1) 保証人連署の誓約書を提出すること。
- (2) 住民票又はこれに代るものを提出すること。
- (3) 所定の授業料等を納付すること。

2 故なく、前項の手続をしないときは、入学許可はその効力を失う。

第28条 病気その他やむを得ない理由により、2か月以上修学することができない者は、理由書(病気による場合は医師の診断書)を添えて学長に願い出て、許可を得て休学することができる。

2 休学できる期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、許可を得て延長することができる。

3 休学の期間は、通算して4年を超えてはならない。

第29条 病気その他の理由により、修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は、教授会の議を経て休学を命ずることができる。

第30条 休学期間は、第5条に規定する在学期間に算入しない。

第31条 休学の理由が終って復学しようとする者は、理由書(病気による休学の場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第32条 他の大学に転学しようとする者又は他の大学の入学試験に応じようとする者は、理由書を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第33条 現に在籍している学部・学科の学生が、他の学部・学科に転学部・転学科を志望する場合は、願い出により、選考の上、学長は、教授会の議を経て第2年次又は第3年次に転学部・転学科を許可することができる。

2 前項に関する事項については、別に定める。

第34条 退学しようとする者は、理由書(病気による場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第35条 本学が教育上有益と認めるときに限り、外国の大学との協議に基づき、学生は、

学長の許可を得て当該大学に留学することができる。

2 第 10 条第 2 項、第 3 項及び第 4 項の規定は、前項の場合にこれを準用する。ただし、外国の大学との協定に基づく 2 学位プログラムによる留学の場合は、原則として 2 年間の履修を必要とするため、第 10 条第 3 項の適用を除外する。

第 36 条 次の各号の一に該当する者は、これを除籍する。

- (1) 第 5 条に規定する在学期間を超えた者
- (2) 第 28 条第 3 項に規定する休学期間を超えた者
- (3) 休学期間が終っても所定の手続きをしない者
- (4) 死亡した者
- (5) 授業料納付の義務を怠り、督促しても納付しない者

第 37 条 第 34 条の規定による退学者及び前条第 5 号の規定による除籍者については、本人の願出により、学長は、教授会の議を経て再入学させることができる。

第 8 章 授業料、入学料及び検定料

第 38 条 本学の各学部の授業料、入学料及び検定料の額は、次の表のとおりとする。ただし、第 5 条に規定する修業年限を超えて在学する者及び私費外国人留学生の授業料の額並びに入学試験において複数日の受験又は複数学科の受験を出願する者の検定料の額については、別に定めることができる。

| 区分 | | 1 年次 | 2 年次 | 3 年次 | 4 年次 | 計 |
|-----|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 授業料 | 工学部 | (円) 930,000 | (円) 940,000 | (円) 950,000 | (円) 960,000 | (円) 3,780,000 |
| | 経営情報学部 | 730,000 | 740,000 | 750,000 | 760,000 | 2,980,000 |
| | 国際関係学部 | 770,000 | 780,000 | 790,000 | 800,000 | 3,140,000 |
| | 人文学部 | 770,000 | 780,000 | 790,000 | 800,000 | 3,140,000 |
| | 応用生物学部 | 930,000 | 940,000 | 950,000 | 960,000 | 3,780,000 |
| | 生命健康科学部 | | | | | |
| | 生命医科学科 | 990,000 | 1,000,000 | 1,010,000 | 1,020,000 | 4,020,000 |
| | 保健看護学科 | 960,000 | 970,000 | 980,000 | 990,000 | 3,900,000 |
| | 理学療法学科 | 960,000 | 970,000 | 980,000 | 990,000 | 3,900,000 |
| | 作業療法学科 | 960,000 | 970,000 | 980,000 | 990,000 | 3,900,000 |
| | 臨床工学科 | 930,000 | 940,000 | 950,000 | 960,000 | 3,780,000 |
| | スポーツ保健医療学科 | 880,000 | 890,000 | 900,000 | 910,000 | 3,580,000 |
| | 現代教育学部 | 720,000 | 730,000 | 740,000 | 750,000 | 2,940,000 |
| 入学料 | 280,000円 | | | | | |
| 検定料 | 35,000円 | | | | | |

第 39 条 授業料の納付は、各年次に係る授業料について、春学期及び秋学期の 2 期に区分して行うものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額

とする。

2 前項の授業料は、春学期にあつては4月1日から10日までに、秋学期にあつては10月1日から10日までに納付しなければならない。ただし、新たに入学を許可された者は、指定の期日までに春学期の授業料を納付しなければならない。

第39条の2 春学期又は秋学期の全期間を休学する者のその期の授業料は、納付を免除する。ただし、別に定める在籍料を指定の期日までに納付しなければならない。

第40条 秋学期の納付の時期前に退学する者の納付する授業料の額は、授業料の年額の2分の1に相当する額とする。

第41条 経済的理由によって納付が困難な者については、その者の申請に基づいて、納付を猶予することができる。

第42条 入学料は、入学するときに納付しなければならない。ただし、再入学する者にその他別に定める者については、入学料の納付を免除する。

第42条の2 検定料は、入学、編入学又は再入学を出願するときに納入しなければならない。

第42条の3 既納の授業料、入学料及び検定料は、返付しない。ただし、入学手続き時に納付された授業料の取扱いについては、別に定めることができる。

第9章 賞罰

第43条 学生として表彰に価する行為があつたときには、学長は、教授会の議を経て、これを表彰することができる。

第44条 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があつたときは、学長は、教授会の議を経て、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行うことができる。

(1) 性行不良で、改善の見込がないと認められた者

(2) 学力劣等で、成業の見込がないと認められた者

(3) 正当な理由がなくて、欠席が長期にわたる者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第10章 研究生及び聴講生

第45条 本学において特定の事項について研究することを願ひ出た者があるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、研究生として許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、本学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者とする。

第46条 研究生の研究期間は半年とする。ただし、事情によって延長することができる。

2 研究期間が終了したときは、研究生としての在籍証明書を交付することができる。

第47条 研究生の研究料は、1か月28,000円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、35,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の研究料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 48 条 本学の授業科目のうち特定の科目を聴講することを願い出た者がいるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することがある。

2 聴講生を志願することのできる者は、第 23 条に規定する入学資格を有する者又は本学教授会において適当と認めた者とする。

第 49 条 聴講生の聴講期間は、聴講科目について授業の行われる期間とする。

2 聴講科目の試験に合格した者には、証明書を交付することができる。

3 聴講生として取得した単位は、本学正規の課程の単位としては認められない。

第 50 条 聴講生の聴講料は、1 科目につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 既納の聴講料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 51 条 研究生及び聴講生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第 11 章 特別聴講学生

第 52 条 他の大学又は外国の大学に在学中の学生で本学の授業科目の履修を希望する者がいるときは、当該大学との協議に基づき、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

第 11 章の 2 科目等履修生

第 52 条の 2 本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目を履修し、単位を修得しようとする者がいる場合、学部において適当と認めたときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

第 52 条の 3 科目等履修生を志願することのできる者は、第 23 条に規定する入学資格を有する者とする。

第 52 条の 4 科目等履修生の入学の時期は、当該授業科目の授業が行われる学期の始めとする。

第 52 条の 5 科目等履修生の授業料は、1 単位につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、5,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の授業料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 52 条の 6 その他科目等履修生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第 12 章 職員組織

第 53 条 本学に次の職員を置く。

学長

副学長

学部長
教授
准教授
講師
助教
助手
事務職員
技術職員

2 前項に定めるほか、必要に応じてその他必要な職員を置くことができる。

第13章 協議会及び教授会

第54条 本学に重要な事項を審議するため、中部大学協議会(以下「協議会」という。)を置く。

第54条の2 協議会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学監
- (4) 学長補佐
- (5) 学部長
- (6) 研究科長
- (7) 機構長
- (8) 入学センター長
- (9) 国際センター長
- (10) 事務局長
- (11) 学長の指名した者

第54条の3 協議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学則その他重要な規程の制定又は改廃に関する事項
- (2) 研究科、専攻、学部、学科その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項
- (3) 教育活動の基本方針に関する事項
- (4) 学生支援の基本方針に関する事項
- (5) 研究活動の基本方針に関する事項
- (6) 国際交流の基本方針に関する事項
- (7) 安全・危機管理の基本方針に関する事項
- (8) 教育研究活動等に係る評価の基本方針に関する事項
- (9) その他大学の運営に関する重要事項

第55条 学部に、学部の重要な事項を審議するため、教授会を置く。

第55条の2 教授会は、教授をもって組織する。

2 前項の組織には、審議事項に応じ、准教授その他の教育職員を加えることができる。

第 56 条 教授会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学科、講座、学科目の設置、廃止等学部の組織に関する事項
- (2) 教育課程の編成に関する事項
- (3) 学生の入退学、試験、卒業等に関する事項
- (4) 学生の厚生補導に関する事項
- (5) 教育職員の人事に関する事項
- (6) その他学部の重要な事項

第 14 章 図書館

第 57 条 本学に附属三浦記念図書館を置く。

- 2 附属三浦記念図書館の管理・運営その他必要な事項は、別に定める。

第 15 章 学生寮

第 58 条 本学に学生寮を置き、学生の願い出により選考の上、入寮を許可する。

- 2 学生寮に関する規則は、別に定める。

第 16 章 公開講座

第 59 条 地方文化の向上発展に資するために、適宜地方の実情に即した公開講座を開催することがある。

第 17 章 雑則

第 60 条 この学則の施行に関し必要な事項は、施行細則で定める。

附 則

この学則は、昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。

<昭和 40 年 4 月 1 日から平成 6 年 3 月 31 日までの改正附則は省略>

附 則

- 1 この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定にかかわらず、平成 3 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | |
|----|----|------------------|--------|
| | | 平成3年度～ 平成10年度 | 平成11年度 |
| | | | |

| | | | |
|--------|--------|------|-----|
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 160 |
| | 電気工学科 | 160 | 140 |
| | 土木工学科 | 120 | 100 |
| | 建築学科 | 120 | 100 |
| | 電子工学科 | 180 | 160 |
| | 工業化学科 | 120 | 100 |
| | 工業物理学科 | 80 | 40 |
| | 計 | 1000 | 800 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 260 |
| | 計 | 260 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 | 110 |
| | 計 | 220 | 220 |

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成2年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成6年6月1日から施行し、改正後の第54条の2の規定は、平成6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成6年6月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | |
|----|----|------------------|--------|
| | | 平成3年度～ 平成10年度 | 平成11年度 |
| | | | |

| | | | |
|--------|--------|------|-----|
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 160 |
| | 電気工学科 | 160 | 140 |
| | 土木工学科 | 120 | 100 |
| | 建築学科 | 120 | 100 |
| | 電子工学科 | 180 | 160 |
| | 工業化学科 | 20 | 100 |
| | 工業物理学科 | 80 | 40 |
| | 計 | 1000 | 800 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 260 |
| | 計 | 260 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 | 110 |
| | 計 | 220 | 220 |

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成3年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | |
|--------|--------|------------------|--------|
| | | 平成3年度～ 平成10年度 | 平成11年度 |
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 160 |
| | 電気工学科 | 160 | 140 |
| | 土木工学科 | 120 | 100 |
| | 建築学科 | 120 | 100 |
| | 電子工学科 | 180 | 160 |
| | 工業化学科 | 120 | 100 |
| | 工業物理学科 | 80 | 40 |
| | 計 | 1000 | 800 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 260 |
| | 計 | 260 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 | 110 |

| | | | |
|--|---|-----|-----|
| | 計 | 220 | 220 |
|--|---|-----|-----|

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成4年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | |
|--------|--------|------------------|--------|
| | | 平成3年度～ 平成10年度 | 平成11年度 |
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 160 |
| | 電気工学科 | 160 | 140 |
| | 土木工学科 | 120 | 100 |
| | 建築学科 | 120 | 100 |
| | 電子工学科 | 180 | 160 |
| | 工業化学科 | 120 | 100 |
| | 工業物理学科 | 80 | 40 |
| | 計 | 1000 | 800 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 260 |
| | 計 | 260 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 | 110 |
| | 計 | 220 | 220 |

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成5年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成3年

度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | |
|--------|--------|------------------|--------|
| | | 平成3年度～ 平成10年度 | 平成11年度 |
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 160 |
| | 電気工学科 | 160 | 140 |
| | 土木工学科 | 120 | 100 |
| | 建築学科 | 120 | 100 |
| | 電子工学科 | 180 | 160 |
| | 工業化学科 | 120 | 100 |
| | 工業物理学科 | 80 | 40 |
| | 計 | 1000 | 800 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 260 |
| | 計 | 260 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 | 110 |
| | 計 | 220 | 220 |

- 3 人文学部に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 12 年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 9 条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成 6 年 4 月 1 日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部工業化学科は、改正後の第 2 条の規定にかかわらず、平成 11 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 第 3 条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成 11 年度の入学定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 |
|-----|--------|------|
| 工学部 | 機械工学科 | 220 |
| | 電気工学科 | 160 |
| | 土木工学科 | 120 |
| | 建築学科 | 120 |
| | 電子工学科 | 180 |
| | 応用化学科 | 120 |
| | 工業物理学科 | 80 |

| | | |
|--------|--------|------|
| | 計 | 1000 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 |
| | 計 | 260 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 |
| | 国際文化学科 | 110 |
| | 計 | 220 |

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業物理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科に係る適用規定は、なお従前の例による。
- 3 工学部土木工学科、建築学科、応用化学科及び情報工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成14年度からこれを適用し、工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成12年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|--------|--------|------|----------|-------|
| 工学部 | 機械工学科 | 220 | 15 | 910 |
| | 電気工学科 | 140 | 10 | 640 |
| | 土木工学科 | 110 | 10 | 490 |
| | 建築学科 | 120 | 10 | 500 |
| | 電子工学科 | 160 | 10 | 720 |
| | 応用化学科 | 120 | 10 | 500 |
| | 情報工学科 | 120 | 0 | 120 |
| | 工業物理学科 | 0 | 0 | 240 |
| | 計 | 990 | 65 | 4,120 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 260 | 20 | 1,080 |
| | 計 | 260 | 20 | 1,080 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 10 | 460 |
| | 国際文化学科 | 100 | 10 | 450 |
| | 計 | 210 | 20 | 910 |

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表及び第13条の規

定にかかわらず、なお従前の例による。

- 5 この学則施行の際、平成7年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成13年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|--------|--------|------|----------|-------|
| 工学部 | 機械工学科 | 200 | 15 | 890 |
| | 電気工学科 | 110 | 10 | 590 |
| | 土木工学科 | 100 | 10 | 470 |
| | 建築学科 | 120 | 10 | 500 |
| | 電子工学科 | 120 | 10 | 660 |
| | 応用化学科 | 100 | 10 | 480 |
| | 情報工学科 | 120 | 0 | 240 |
| | 工業物理学科 | 0 | 0 | 160 |
| | 計 | 870 | 65 | 3,990 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 250 | 20 | 1,070 |
| | 計 | 250 | 20 | 1,070 |
| 国際関係学部 | 国際関係学科 | 110 | 10 | 460 |
| | 国際文化学科 | 90 | 10 | 430 |
| | 計 | 200 | 20 | 890 |

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)及び第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 平成13年度以降に人文学部各学科、工学部情報工学科及び応用生物学部各学科に入学する学生に係る教養教育科目については、改正後の別表(第9条関係)教養教育科目(Ⅱ)を適用する。
- 5 この学則施行の際、平成8年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成13年5月22日から施行し、平成13年1月6日から適用する。

附 則

この学則は、平成 13 年 5 月 24 日から施行し、平成 13 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 13 年 11 月 21 日から施行し、平成 13 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科及び人文学部コミュニケーション学科、心理学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 16 年度からこれを適用し、工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 14 年度の入学定員は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 |
|--------|--------|------|
| 工学部 | 機械工学科 | 190 |
| | 建築学科 | 120 |
| | 応用化学科 | 100 |
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 140 |

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第 9 条関係)及び第 13 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 15 年度の入学定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 |
|-----|-------|------|
| 工学部 | 機械工学科 | 180 |
| | 建築学科 | 120 |
| | 応用化学科 | 100 |

| | | |
|--------|--------|-----|
| 経営情報学部 | 経営情報学科 | 130 |
|--------|--------|-----|

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 工学部電気工学科、土木工学科及び電子工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 人文学部英語英米学科及び歴史地理学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成18年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 工学部情報工学科、人文学部日本語日本文化学科及び応用生物学部食品栄養科学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成19年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成17年5月24日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成 17 年 10 月 14 日から施行し、平成 17 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 17 年 12 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成 19 年 12 月 26 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、同電子情報工学科及び現代教育学部幼児教育学科、同児童教育学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 22 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成 21 年 1 月 21 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 国際関係学部国際関係学科、同国際文化学科及び同中国語中国関係学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 23 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科及び経営会計学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 25 年度からこれを適用する。
- 3 改正後の第 12 条、第 18 条及び第 21 条第 2 項の規定にかかわらず、国際関係学部中国語中国関係学科、生命健康科学部及び現代教育学部においては、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 12 条、第 18 条及び第 21 条第 2 項並びに別表 1（第 2 条関係）及び別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 12 条、第 18 条及び第 21 条第 2 項の規定（平成 23 年 4 月 1 日施行）にかかわらず、国際関係学部中国語中国関係学科、生命健康科学部においては、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第12条、第18条及び第21条第2項の規定（平成23年4月1日施行）にかかわらず、生命健康科学部においては、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 工学部ロボット理工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成28年度からこれを適用する。
- 3 改正後の第12条、第18条及び第21条第2項の規定（平成23年4月1日施行）にかかわらず、生命健康科学部においては、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (第2条第2項関係)

教育研究上の目的

| 学部・学科 | 教育研究上の目的 |
|-----------|---|
| 工学部 | 個の人間形成に必要な教養、時代を超えた普遍的な幅広い基礎知識、専門知識と実務知識並びにその応用力を自ら学ぶことによって修得し、発想を現実のものにするための複眼的な論理的思考法を訓練することにより、地域社会を中心にして、日本さらには国際社会において、状況の変化や時代の要請に応じて柔軟に対応して活躍できる能力を身に付け、開拓者精神に満ちた心身共に健全な技術者（教育者、研究者を含む。）を育成する。 |
| 機械工学科 | 数学と物理学における基礎的な理解力・応用力と、これらに基づいた機械工学の最も基礎的・普遍的な専門知識と概念を修得させるとともに、各種機械の設計・製作・評価・管理に関する学術分野の教育を行い、主として力学・制御、エネルギー・流体、生産プロセス及び工学設計の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。 |
| 電気システム工学科 | 地球規模で持続可能な電気エネルギーシステムと、電気を有効に利用した快適な社会環境を確立するため、電気工学を基盤とする学術分野の教育を行い、主として、電力・設備システム、電機・制御システム、電気情報システムにおける各領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。 |
| 電子情報工学科 | 現代産業の根幹を担う分野がエレクトロニクスを中心とした電子情報工学であると言っても過言ではない。通信、情報処理、電子デバイス、電子情報応用の学術分野の教育を行い、主として電子情報工学の基礎と応用、自然環境や人類の福祉、情報化社会への対応、能動的な行動力と問題解決、国際化への対応の領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。 |
| 都市建設工学科 | 土木工学を基盤として、人間が生活する上で安心・安全かつ快適な社会基盤の整備や持続発展可能な地球環境の開発・保全に関する学術分野の教育を行い、主として、計画、設計、施工、管理などの専門的又は実務的な領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。 |
| 建築学科 | 建築は機能を満たし、安全、快適で美しさが求められる。歴史、都市、社会との関わりを基礎に、空間創造のための建築デザイン、安全な建築を造るための材料と構造、建築内外の環境の学術分野の教育を行う。そして、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画の領域の知識を修得し、デザイン能力があり、人間の幸福を実現できる有能な人間を育成する。 |
| 応用化学科 | 物質の変化に関する化学の基礎的概念を理解させ、これに基づいた化学の専門知識を修得させるとともに、化学計測、無機・有機及びナノ複合材料、エネルギー、環境に関する学術分野の教育を行い、主として環境化学、物理化学、無機化学、有機化学及び化学工学の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。 |

| | |
|----------|--|
| 情報工学科 | 情報工学の技術と知識の基礎を身につけ、システムモデルを構築する能力を伸ばすための教育を行い、主としてソフトウェア、通信ネットワーク、ハードウェア、システム制御に関する知識・能力を修得した有能な人間を育成する。 |
| ロボット理工学科 | ロボット理工学の基礎となる理学並びにシステム設計、プログラミング、制御・信号処理、人工知能、生体医工学等の基盤的工学知識を修得させるとともに、複合的な新しいロボット技術に関する教育を行い、ロボット領域における知識・能力、技術を身につけたロボット共存社会を支えるグローバルな技術者を育成する。 |
| 経営情報学部 | 豊かな教養、自立心と公益心とともに、企業経営と情報技術に関する基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、自ら学び続ける能力を身につけ、広く国際的視野から物事を考え実行する専門職業人/有識社会人となる有為の人間を育成する。 |
| 経営情報学科 | <p>情報システム及び企業経営に関する基本的な知識を理解・修得し、社会組織における情報の特質と価値、情報システム並びにその果たす役割を理解し、企業情報や情報技術を活用して、将来以下のような人材として社会に役立つ人間を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業経営・企業会計を理解し、情報技術を効果的に企業活動に反映できる人材。 2. 企業経営・事業戦略・情報戦略を理解し、企業における最適な情報システム的设计・構築・維持・改良・運用及びシステムコンサルティングが行える人材。 3. 情報技術を駆使して情報収集・分析を的確に行うことができ、戦略策定など、企業活動の中核を担える人材。 |
| 経営学科 | <p>経営、経済、法律、会計、情報等の諸分野にわたる基本的な考え方、知識、スキルを修得し、自立心、公益意識、広い視野から物事を考える力、行動力を備えて、将来以下のような人材として社会に役立つ人間を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会において、企業等の組織的活動を発展に導くとともに社会的貢献の実現にも努める経営者。 2. 情報化社会における企業等の組織的活動において、自らの社会的価値観に立ちながら、経営者の構想と方針を理解し、専門的能力を活用してその実現に貢献する人間。 3. 情報化社会において、企業等の組織的活動を、社会的な立場から望ましい方向に導く有識者。 |

| | |
|-------------|--|
| 経営会計学科 | <p>企業会計の仕組みとその意味を理解・修得するとともに、企業経営に関する幅広い知識と基本的な情報技術を身に付け、将来以下のような会計専門職の人材として社会に役立つ人間を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務諸表の作成、企業経営に役立つ会計情報の整備など、会計専門職に従事する人材。 2. 会計学に関する基本的な理解を身に付け、その知識を活用しながら企業活動のさまざまな分野で活躍する人材。 3. 経営に関する基本的な理解を身に付け、行政や各種専門機関の立場から、会計情報に携わる専門家。 |
| 国際関係学部 | <p>社会科学並びに人文科学の立場から、国際関係・国際文化の動向・諸要因を政治・経済・社会・文化等の諸分野について総合的・包括的、グローバルかつローカルな視点から考察し、国際化する社会のさまざまな現場で、実際に活躍できる有為の人間を育成する。</p> |
| 国際関係学科 | <p>国際社会の政治・経済現象を社会科学の立場を中心として考察し、国際社会の動向や諸要因の分析、国際開発や政策研究等の諸問題を総合的・包括的に教育研究して、国際的な知識・視野を備え、幅広く社会で活躍できる人間を育成する。</p> |
| 国際文化学科 | <p>国際社会の社会・文化現象を人文科学の立場を中心として考察し、人類の多様な文化的価値の解明、他文化理解やコミュニケーション能力の向上等、国際的な知識・視野を備え、幅広く社会で活躍できる人間を育成する。</p> |
| 中国語中国関係学科 | <p>中国語による十分なコミュニケーション能力を身に付けた上で、中国の経済・社会・政治・文化や日中関係など、国際社会の中で中国が取り結ぶ諸関係についての知識・視野を備え、この分野を中心として幅広く社会で活躍できる人間を育成する。</p> |
| 人文学部 | <p>人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成する。</p> |
| 日本語日本文化学科 | <p>世界の中の日本という視点から、日本語や日本文化を深く理解し、国際社会の中での日本文化の意義を探求し、あわせてそのための読解力、思考力、表現力の練磨をとおして教養ある社会人を育成する。</p> |
| 英語英米文化学科 | <p>高度な英語運用能力を養い、英語圏の言語、社会・文化に対する深くて確かな知識と理解力を持ち、積極的に国際社会に参加できる逞しい人間を育成する。</p> |
| コミュニケーション学科 | <p>現代のメディア・コミュニケーションについての理論と実践的技術を学び、情報の収集、吟味、加工・編集、発信のプロセスを深く理解し、高度情報社会で自立的な判断ができる人間を育成する。</p> |
| 心理学科 | <p>基礎的な研究方法や技術を学び、認知、教育・文化、発達・社会、臨床などの各分野の専門知識を深く理解し、また統合し、こころの問題に対処できる力量をもった健全で成熟した社会人を育成する。</p> |

| | |
|---------|---|
| 歴史地理学科 | あらゆる事象や問題を「歴史的経緯」と「地理的視野」をあわせて統合的に考察・学習し、現代を生きてゆくために必要な深い洞察力と見識、歴史学的・地理学的センスを身につけた人間を育成する。 |
| 応用生物学部 | 現代の生物科学の爆発的な発展の状況を受け、21世紀のバイオ産業すなわち生物の機能を応用して人間生活に有用な物質生産や自然環境保全及び食育環境の向上を目的とする産業及び民政部門で活躍する職業人を育成する。 |
| 応用生物化学科 | バイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、微生物や動植物の多様な生物機能の利用技術を支え、発展させるとともに、先端の生物科学の情報にも精通し、人類の生存に有用な手段を提供し、広くバイオ産業界で活躍しうる人間を育成する。 |
| 環境生物科学科 | 環境に関わるバイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、環境の状況を科学的に評価し、循環型社会の実現と地球環境問題を解決する能力のある人間を育成するとともに、あらゆる産業・社会分野において環境問題に極めて意識の高い職業人・技術者・社会人を育成する。 |
| 食品栄養科学科 | 最先端のバイオサイエンス、バイオテクノロジーに関する基礎教育を基盤として、現代の食を取り巻く種々の状況・問題を理解、解決するための知識や技術を習得し、食品産業界のみではなく、医薬品・健康産業や生物生産業など広い分野で活躍できる「食と健康」に関するプロフェッショナルを育成する。 |
| 生命健康科学部 | 生活習慣病の拡大や新型感染症の増加など21世紀型の健康・医療に関する諸課題に対して、豊かな人間性ととも医学と生命科学の基礎を修得し、十分なバイオ・創薬・医用工学技術あるいは保健・看護学を基盤とした専門的技術を身につけて、学際的な新たな立場で対応できる有能な人間を育成することを通じて社会に貢献する。 |
| 生命医科学科 | 豊かな人間性の涵養教育及び医学と生命科学の基礎教育を徹底した上で、21世紀型の疾病と健康不安のしくみを解明し、これを予防し診断・治療するための薬物、資材、機器、技術を開発する研究者、技術者、並びに生活・職場環境を保健予防の視点で保全する専門家、並びに関連学問領域の教育研究者の候補を育成する。 |
| 保健看護学科 | 看護学の専門教育並びに医学と生命科学の基礎的教育を通じて、豊かな人間性を備え、人間の尊厳と権利を擁護でき、人々に信頼される実践力を持ち、保健・医療・福祉チームにおいて、国際社会の動向を見据えたグローバルな視野でコラボレーション、リーダーシップを発揮できる看護師、保健師を育成する。 |
| 理学療法学科 | 医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸課題に対応できる専門職業人としての理学療法士を養成する。 |

| | |
|------------|---|
| 作業療法学科 | 医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての作業療法士を養成する。 |
| 臨床工学科 | 医科学・医療を総合的に捉えた上で、最先端の医療機器の操作・維持管理について教育研究し、豊かな人間性を備え、幅広い総合性と高い専門性を修得して、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての臨床工学技士を養成する。 |
| スポーツ保健医療学科 | 人間の健康の保持・増進と疾病予防等の病気に関する十分な知識を備えた上で、現代病の発症予防と健康の増幅に有用な水泳、エアロビクス運動、レクリエーションなどの健康運動（健康・生涯スポーツ等）の理論と実技を習得し、その知識・技術を科学的・医学的根拠に基づいて的確に活用して、中高年者、心身の障害者、その他の理由で身体運動が不活発な者を主な対象とした「健康運動」の安全かつ効果的な実践を適切に指導できる「健康運動を活用する保健医療の推進者」としての専門性を備えた人材を育成する。 |
| 現代教育学部 | 次世代教育、特に、家庭、学校、地域社会における教育の重要性を基本とし、次代を担う乳幼児、児童の健全な育成を中心的課題として広く教育研究を行い、もって人格形成基盤を体系的に支援することができる優れた教育者、保育者を養成し、社会の期待と発展に寄与することを目的とする。 |
| 幼児教育学科 | 乳幼児と幼児期を対象として、人間形成の基盤作りを専門的に支援・指導する専門職業人を養成する。その基本的な教育目標は、保育士と幼稚園教諭1種免許の資格取得を可能とし、その資格・免許を基に複雑で変化の激しい環境の下で生じる個別的な課題の解決に向けて創造的に実践できる人材を育成する。 |
| 児童教育学科 | 就学以降から、12、3歳に至るまでの児童の成長発達、教育、支援について学際的に教育研究して、「次世代教育」のあり方についての理論と技能を修得し、社会が求める多様な教育実践と教育支援活動を積極的に推進する人材を育成する。 |

別表2 (第9条関係)

全学共通教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------------|-----|----|-------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【初年次教育科目】 スタートアップセミナー | 1 | | 【教養課題教育科目】 (人文リテラシー) | | |
| 【キャリア教育科目】 自己開拓 | | 1 | 世界の歴史と日本 | | 2 |
| 社会人基礎知識 | | 2 | 日本の歴史と文化 | | 2 |
| 【スキル教育科目】 英語スキルⅠ | 1 | | 芸術の世界 | | 2 |
| 英語スキルⅡ | 1 | | 映像を読む | | 2 |
| 英語スキルⅢ | | 1 | 教育をみつめて | | 2 |
| 英語スキルⅣ | | 1 | 思考の方法 | | 2 |
| 日本語スキルA | | 2 | (社会リテラシー) | | |
| 日本語スキルB | | 2 | 現代社会と法 | | 2 |
| 情報スキル入門 | | 2 | 日本の憲法 | | 2 |
| 情報スキル活用 | | 2 | 政治と社会 | | 2 |
| 【外国語教育科目】 留学英語A (TOEFL) | 1 | | 現代経済とビジネス | | 2 |
| 留学英語B (TOEFL) | 1 | | 生活環境と人間 | | 2 |
| 資格英語A (英検) | 1 | | 心と身体 | | 2 |
| 資格英語B (TOEIC) | 1 | | (科学技術リテラシー) | | |
| パセオアカデミック L&S A | 2 | | 数学の思考法 | | 2 |
| パセオアカデミック L&S B | 2 | | 物理と自然 | | 2 |
| パセオアカデミック R&W A | 2 | | 化学と物質 | | 2 |
| パセオアカデミック R&W B | 2 | | 生物と環境 | | 2 |
| パセオコンテンツ A | 1 | | 生命と医療 | | 2 |
| パセオコンテンツ B | 1 | | 科学技術と社会 | | 2 |
| ドイツ語入門Ⅰ | 1 | | 地球と生命 | | 2 |
| ドイツ語入門Ⅱ | 1 | | 【特別課題教育科目】 | | |
| フランス語入門Ⅰ | 1 | | 人類と資源 | | 2 |
| フランス語入門Ⅱ | 1 | | 持続学のすすめ | | 2 |
| 中国語入門Ⅰ | 1 | | 地域の防災と安全 | | 2 |
| 中国語入門Ⅱ | 1 | | 地球を観る | | 2 |
| スペイン語入門Ⅰ | 1 | | グローバル環境論 | | 2 |
| スペイン語入門Ⅱ | 1 | | 【健康とスポーツ】 | | |
| ポルトガル語入門Ⅰ | 1 | | 健康科学 | 1 | |
| ポルトガル語入門Ⅱ | 1 | | スポーツA | | 1 |
| 韓国語入門Ⅰ | 1 | | スポーツB | | 1 |
| 韓国語入門Ⅱ | 1 | | スポーツC | | 1 |
| 実践外国語A | 1 | | 【スポーツ活動】 | | |
| 実践外国語B | 1 | | スポーツ活動A | | 1 |
| 語学研修A | 1 | | スポーツ活動B | | 1 |
| 語学研修B | 1 | | スポーツ活動C | | 1 |
| | | | スポーツ活動D | | 1 |
| | | | スポーツ活動E | | 1 |
| | | | スポーツ活動F | | 1 |
| | | | スポーツ活動G | | 1 |
| | | | スポーツ活動H | | 1 |

※ スキル教育科目の内、英語スキルⅠ及び英語スキルⅡは、国際関係学部国際関係学科、国際関係学部国際文化学科、人文学部英語英米文化学科においては、選択とする。

工学部 機械工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|---------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | (エネルギー・流体分野) | | |
| (共通基礎科目) | | | 工業熱力学 | 2 | |
| 基礎数学 | | 3 | 工業熱力学演習 | 1 | |
| 基礎物理学 | | 2 | 伝熱工学 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | 3 | | エネルギー変換 | | 2 |
| 微分積分学Ⅱ | 3 | | 水力学 | 2 | |
| 線形代数 | 3 | | 水力学演習 | 1 | |
| 力学 | | 2 | 流体工学 | | 2 |
| 物質の科学 | | 2 | 流体機械 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | (生産プロセス分野) | | |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | | 機械材料学 A | 2 | |
| 創造理工学実験Ⅱ | 2 | | 機械材料学 B | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 | 機械材料学 C | | 2 |
| (専門基盤科目) | | | 生産加工学 A | 2 | |
| ベクトル解析 | | 2 | 生産加工学 B | | 2 |
| 確率統計学 | | 2 | 生産加工学 C | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 | (メカトロ基礎) | | |
| 応用数学 | | 2 | 電子計算機応用 | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 | 電気回路 | | 2 |
| 熱学 | | 2 | 電子応用機器 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | (工学設計) | | |
| 生物と工学 | | 2 | 機械製図 A | 1 | |
| (複合領域科目) | | | 機械製図 B | 1 | |
| 管理工学 | | 2 | 機構学 | | 2 |
| 環境工学 | | 2 | 機械設計 A | 2 | |
| 安全工学 | | 2 | 機械設計 B | 2 | |
| 工学倫理 | | 2 | CAD 製図 | 1 | |
| 図学 | | 2 | 機械設計製図 A | 1 | |
| コンピュータ支援工学 A | | 1 | 機械設計製図 B | | 1 |
| コンピュータ支援工学 B | | 2 | CAD/CAM | | 1 |
| 創成工学 A | | 2 | コンピュータ応用工学 | | 1 |
| 創成工学 B | | 1 | (総合機械工学) | | |
| 社会と工学 | | 2 | 機械創成実習 A | 1 | |
| 企業と工学 | | 2 | 機械創成実習 B | 1 | |
| インターンシップ A | | 1 | 機械創成実験 A | 1 | |
| インターンシップ B | | 2 | 機械創成実験 B | 1 | |
| 【学科専門教育科目】 | | | 機械創成実習 C | | 2 |
| (機械工学基礎) | | | 創造工学演習 | | 1 |
| 工業力学 | 3 | | 先端機械工学 A | | 2 |
| (力学・制御分野) | | | 先端機械工学 B | | 1 |
| 材料力学 A | 2 | | 総合機械工学 | | 1 |
| 材料力学 A 演習 | 1 | | 自動車工学 | | 2 |
| 材料力学 B | 2 | | 工作機械 | | 2 |
| 材料力学 C | | 2 | 機械工学技術英語 A | | 1 |
| 機械力学 A | 2 | | 機械工学技術英語 B | | 1 |
| 機械力学 B | | 2 | <卒業研究> | 4 | |
| 制御工学 A | 2 | | | | |
| 制御工学 B | | 2 | | | |
| 計測工学 | | 2 | | | |
| ロボット工学 | | 2 | | | |

工学部 機械工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 16 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 電気システム工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | |
| (共通基礎科目) | | |
| 基礎数学 | | 3 |
| 基礎物理学 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | 3 | |
| 微分積分学Ⅱ | 3 | |
| 線形代数 | 3 | |
| 力学 | | 2 |
| 物質の科学 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | |
| 創造理工学実験Ⅱ | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 |
| (専門基盤科目) | | |
| ベクトル解析 | 2 | |
| 確率統計学 | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 |
| 応用数学 | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 |
| 熱学 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 |
| 生物と工学 | | 2 |
| (複合領域科目) | | |
| 管理工学 | | 2 |
| 環境工学 | | 2 |
| 安全工学 | | 2 |
| 工学倫理 | | 2 |
| 図学 | | 2 |
| コンピュータ支援工学 A | | 1 |
| コンピュータ支援工学 B | | 2 |
| 創成工学 A | | 2 |
| 創成工学 B | | 1 |
| 社会と工学 | | 2 |
| 企業と工学 | | 2 |
| インターンシップ A | | 1 |
| インターンシップ B | | 2 |
| 【学科専門教育科目】 | | |
| (電気基礎学) | | |
| 電気数学演習 A | 1 | |
| 電気数学演習 B | 1 | |
| 電気磁気学Ⅰ | 2 | |
| 電気磁気学Ⅱ | 2 | |
| 電気磁気学Ⅲ | 3 | |
| 電気回路Ⅰ A | 2 | |
| 電気回路Ⅰ B | 2 | |
| 電気回路Ⅱ | 3 | |
| 電気回路Ⅲ | 2 | |
| 電気回路Ⅳ | | 2 |
| (計測制御システム) | | |
| 電気計測Ⅰ | 2 | |
| 電気計測Ⅱ | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 自動制御Ⅰ | | 2 |
| 自動制御Ⅱ | | 2 |
| 工学計測システム | | 2 |
| シーケンス工学 | | 2 |
| (電気材料学) | | |
| 電気電子材料 | 2 | |
| 電気電子物性 | | 2 |
| 半導体工学 | | 2 |
| (電機システム) | | |
| 電気エネルギー変換機器Ⅰ | 2 | |
| 電気エネルギー変換機器Ⅱ | | 2 |
| パワーエレクトロニクス A | | 2 |
| パワーエレクトロニクス B | | 2 |
| 電動車輛システム | | 2 |
| 電動力産業応用システム | | 2 |
| 電気設計及び製図 | | 2 |
| (電力システム) | | |
| 電力工学 | 2 | |
| 放電・絶縁工学 | | 2 |
| 新エネルギーシステム | | 2 |
| 電力システム工学 | | 2 |
| 電力応用システム | | 2 |
| 電力設備システム | | 2 |
| 電気化学 | | 2 |
| 電気法規及び施設管理 | | 2 |
| (電子・情報システム) | | |
| 電子デバイス | 2 | |
| 電子回路 A | 2 | |
| 電子回路 B | | 2 |
| 通信システム A | | 2 |
| 通信システム B | | 2 |
| 情報システム概論 | 2 | |
| ソフトウェア工学 A | | 2 |
| ソフトウェア工学 B | | 2 |
| コンピュータハードウェア | | 2 |
| (実験演習等) | | |
| 電気工学実験基礎 | 2 | |
| 電気工学実験Ⅰ | 1 | |
| 電気工学実験Ⅱ A | 1 | |
| 電気工学実験Ⅱ B | 1 | |
| 電気工学応用実験 | 1 | |
| 電気技術文書作成 A | | 1 |
| 電気技術文書作成 B | | 1 |
| ゼミナール A | | 1 |
| ゼミナール B | | 1 |
| 機械工学概論 | | 2 |
| 電気技術英語 | | 1 |
| <卒業研究> | 4 | |

工学部 電気システム工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 16 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 都市建設工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | |
| (共通基礎科目) | | |
| 基礎数学 | | 3 |
| 基礎物理学 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | | 3 |
| 微分積分学Ⅱ | | 3 |
| 線形代数 | | 3 |
| 力学 | | 2 |
| 物質の科学 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | |
| 創造理工学実験Ⅱ | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 |
| (専門基盤科目) | | |
| ベクトル解析 | | 2 |
| 確率統計学 | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 |
| 応用数学 | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 |
| 熱学 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 |
| 生物と工学 | | 2 |
| (複合領域科目) | | |
| 管理工学 | | 2 |
| 環境工学 | 2 | |
| 安全工学 | | 2 |
| 工学倫理 | 2 | |
| 図学 | | 2 |
| コンピュータ支援工学 A | | 1 |
| コンピュータ支援工学 B | | 2 |
| 創成工学 A | | 2 |
| 創成工学 B | | 1 |
| 社会と工学 | | 2 |
| 企業と工学 | | 2 |
| インターンシップ A | | 1 |
| インターンシップ B | | 2 |
| 【学科専門教育科目】 | | |
| (建設一般) | | |
| 建設基礎数学 | 2 | |
| 建設応用数学 | 2 | |
| 基本製図 | 1 | |
| 測量学講義・実習Ⅰ | 3 | |
| 測量学講義・実習Ⅱ | | 3 |
| 応用測量実習 | | 1 |
| 建設技術英語 A | | 1 |
| 建設技術英語 B | | 1 |
| 特別講義 | 2 | |
| 総合講義 | 2 | |
| 施工法 | | 2 |
| 機械工学概論 | | 2 |
| 電気工学概論 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 建築学概論 | | 2 |
| (建設構造) | | |
| 構造力学Ⅰ | 2 | |
| 構造力学Ⅰ 演習 | 1 | |
| 構造力学Ⅱ | | 2 |
| 風・コンクリート構造設計学 | | 2 |
| (建設材料) | | |
| 建設材料学 | 2 | |
| 建設材料実験 | 2 | |
| コンクリート工学Ⅰ | 2 | |
| コンクリート工学Ⅱ | | 2 |
| コンクリート工学演習 | | 1 |
| 維持管理工学 | | 2 |
| (都市水工) | | |
| 水理学Ⅰ | 2 | |
| 水理学Ⅰ 演習 | 1 | |
| 水理学Ⅱ | | 2 |
| 水道工学 | | 2 |
| 河川工学 | | 2 |
| 海岸工学 | | 2 |
| (地盤防災) | | |
| 土の力学Ⅰ | 2 | |
| 土の力学実験演習Ⅰ | 2 | |
| 土の力学Ⅱ | | 2 |
| 土の力学実験演習Ⅱ | | 2 |
| 地盤工学 | | 2 |
| 地盤設計学 | | 2 |
| (都市環境) | | |
| 都市と環境 | 2 | |
| 社会システム計画 | | 2 |
| 交通システム学 | | 2 |
| 都市計画 | | 2 |
| まちづくり工学 | | 2 |
| 建設環境工学 | | 2 |
| 都市防災工学 | | 2 |
| (創成科目) | | |
| 建設創成工学 A | | 2 |
| 建設創成工学 B | | 2 |
| 部門創成 A | 2 | |
| 部門創成 B | 2 | |
| <卒業研究> | 4 | |

工学部 都市建設工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 14 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 70 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 建築学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|-------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | 構造設計 C | | 2 |
| (共通基礎科目) | | | 構造力学演習 | 1 | |
| 基礎数学 | | 3 | 構造計画演習 | | 2 |
| 基礎物理学 | | 2 | (建築材料・施工) | | |
| 微分積分学 I | | 3 | 建築構法 I | 2 | |
| 微分積分学 II | | 3 | 建築構法 II | | 2 |
| 線形代数 | | 3 | 建築生産概論 | 2 | |
| 力学 | | 2 | 建築材料 I | 2 | |
| 物質の科学 | | 2 | 建築材料 II | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | 建築施工計画 | 2 | |
| 創造理工学実験 I | 2 | | 建築施工管理 | | 2 |
| 創造理工学実験 II | | 2 | 建築材料演習 | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 | (建築環境・設備) | | |
| (専門基盤科目) | | | 建築環境工学 A | 2 | |
| ベクトル解析 | | 2 | 建築環境工学 B | 2 | |
| 確率統計学 | | 2 | 建築環境計画 | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 | 建築設備 A | 2 | |
| 応用数学 | | 2 | 建築設備 B | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 | 建築設備 C | | 2 |
| 熱学 | | 2 | 建築環境システム演習 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | (建築デザイン) | | |
| 生物と工学 | | 2 | 基礎製図 A | 2 | |
| (複合領域科目) | | | 基礎製図 B | 2 | |
| 管理工学 | | 2 | 基礎製図 C | 2 | |
| 環境工学 | | 2 | 建築 CAD 演習 | 1 | |
| 安全工学 | | 2 | 建築デザイン基礎 | 2 | |
| 工学倫理 | | 2 | 建築デザイン I | 2 | |
| 図学 | | 2 | 建築デザイン II | 2 | |
| コンピュータ支援工学 A | | 1 | 建築デザイン III | 2 | |
| コンピュータ支援工学 B | | 2 | 建築デザイン IV | | 2 |
| 創成工学 A | | 2 | 建築デザイン V | | 2 |
| 創成工学 B | | 1 | (建築と社会・歴史) | | |
| 社会と工学 | | 2 | 建築と社会 A | | 2 |
| 企業と工学 | | 2 | 建築と社会 B | | 2 |
| インターンシップ A | | 1 | 建築と社会 C | | 2 |
| インターンシップ B | | 2 | 建築史 A | 2 | |
| 【学科専門教育科目】 | | | 建築史 B | | 2 |
| (建築計画・都市計画) | | | 建築史 C | | 2 |
| 建築計画 A | 2 | | (建築学一般) | | |
| 建築計画 B | 2 | | 建築数理 | 2 | |
| 建築計画 C | | 2 | 建築法規 | 2 | |
| 都市計画 | 2 | | 建築防災 | 2 | |
| ハウジング | | 2 | 建築工学演習 | 2 | |
| 建築・都市計画演習 | | 2 | ゼミナール A | | 1 |
| 景観造園学 | | 2 | ゼミナール B | | 1 |
| (構造力学・建築構造学) | | | 土木工学概論 | | 2 |
| 構造力学 I | 2 | | 建築自主活動 A | | 2 |
| 構造力学 II | 2 | | 建築自主活動 B | | 2 |
| 構造力学 III | | 2 | <卒業研究> | 4 | |
| 構造設計 A | 2 | | | | |
| 構造設計 B | | 2 | | | |

工学部 建築学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語必修科目 2 単位、英語またはその他の 外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報 スキル 2 単位を含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 6 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| 卒業研究（必修） | | | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 電子情報工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|-------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | 数値計算法 | | 2 |
| (共通基礎科目) | | | (通信工学) | | |
| 基礎数学 | | 3 | 電磁波工学 | | 2 |
| 基礎物理学 | | 2 | 通信方式 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | | 3 | ワイヤレス通信 | | 2 |
| 微分積分学Ⅱ | | 3 | 通信ネットワーク | | 2 |
| 線形代数 | | 3 | 通信法規 | | 2 |
| 力学 | | 2 | (電子デバイス) | | |
| 物質の科学 | | 2 | 電気・電子材料 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | 半導体工学 | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | | 光・電子デバイス工学 | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅱ | 2 | | レーザ・プラズマ工学 | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 | (情報システム) | | |
| (専門基盤科目) | | | 情報処理工学 | | 2 |
| ベクトル解析 | | 2 | プログラミング言語入門 | | 3 |
| 確率統計学 | | 2 | プログラミング言語応用 | | 3 |
| 微分方程式 | | 2 | ソフトウェア工学 | | 2 |
| 応用数学 | | 2 | 電子計算機工学 | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 | デジタル信号処理 | | 2 |
| 熱学 | | 2 | 情報社会のシステム | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | (電子情報工学一般) | | |
| 生物と工学 | | 2 | 電子情報工学実験ⅠA | 1 | |
| (複合領域科目) | | | 電子情報工学実験ⅠB | 1 | |
| 管理工学 | | 2 | 電子情報工学実験ⅡA | 1 | |
| 環境工学 | | 2 | 電子情報工学実験ⅡB | 1 | |
| 安全工学 | | 2 | 電子情報工学実験Ⅲ | 1 | |
| 工学倫理 | | 2 | 創成電子情報工学 | | 2 |
| 図学 | | 2 | 創成ゼミナールA | | 1 |
| コンピュータ支援工学A | | 1 | 創成ゼミナールB | | 1 |
| コンピュータ支援工学B | | 2 | 電子情報工学演習A | | 1 |
| 創成工学A | | 2 | 電子情報工学演習B | | 1 |
| 創成工学B | | 1 | 電子情報技術英語 | | 1 |
| 社会と工学 | | 2 | 自動制御 | | 2 |
| 企業と工学 | | 2 | パワーエレクトロニクス | | 2 |
| インターンシップA | | 1 | 電気機器通論 | | 2 |
| インターンシップB | | 2 | 特別講義 | | 1 |
| 【学科専門教育科目】 | | | <卒業研究> | 4 | |
| (電子情報基礎学) | | | | | |
| 電気数学 | | 2 | | | |
| 電磁気学Ⅰ | | 3 | | | |
| 電磁気学Ⅱ | | 3 | | | |
| 量子電子物理 | | 2 | | | |
| 電気計測 | | 2 | | | |
| デジタル計測 | | 2 | | | |
| 情報基礎Ⅰ | | 2 | | | |
| 情報基礎Ⅱ | | 2 | | | |
| 電気回路Ⅰ | | 3 | | | |
| 電気回路Ⅱ | | 3 | | | |
| 電子回路基礎 | | 2 | | | |
| アナログ電子回路 | | 2 | | | |
| デジタル電子回路 | | 2 | | | |

工学部 電子情報工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 16 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 応用化学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | (有機化学) | | |
| (共通基礎科目) | | | 理論有機化学 | | 2 |
| 基礎数学 | | 3 | 有機化学 A | | 2 |
| 基礎物理学 | | 2 | 有機化学 B | | 2 |
| 微分積分学 I | | 3 | 有機化学 C | | 2 |
| 微分積分学 II | | 3 | 有機工業化学 | | 2 |
| 線形代数 | | 3 | 有機化学演習 | | 1 |
| 力学 | | 2 | 生物有機化学 | | 2 |
| 物質の科学 | | 2 | 有機材料化学 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | (物性化学) | | |
| 創造理工学実験 I | 2 | | 物理化学 A | | 2 |
| 創造理工学実験 II | | 2 | 物理化学 B | | 2 |
| 基礎化学実験 | 2 | | 物理化学演習 | | 1 |
| (専門基盤科目) | | | 物性化学 | | 2 |
| ベクトル解析 | | 2 | 電気化学 | | 2 |
| 確率統計学 | | 2 | セラミック材料 | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 | 高分子化学 | | 2 |
| 応用数学 | | 2 | (環境化学工学) | | |
| 基礎電磁気学 | | 2 | 分析化学 | | 2 |
| 熱学 | | 2 | 機器分析化学 A | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | 機器分析化学 B | | 2 |
| 生物と工学 | | 2 | 化学工学 A | | 2 |
| (複合領域科目) | | | 化学工学 B | | 2 |
| 管理工学 | | 2 | 化学工学演習 | | 1 |
| 環境工学 | | 2 | 反応工学 | | 2 |
| 安全工学 | | 2 | 環境化学 | | 2 |
| 工学倫理 | | 2 | (応用化学実験) | | |
| 図学 | | 2 | 基礎分析化学実験 | 1 | |
| コンピュータ支援工学 A | | 1 | 無機分析化学実験 | 1 | |
| コンピュータ支援工学 B | | 2 | 有機分析化学実験 | 1 | |
| 創成工学 A | | 2 | 無機化学実験 A | 1 | |
| 創成工学 B | | 1 | 無機化学実験 B | 1 | |
| 社会と工学 | | 2 | 有機化学実験 A | 1 | |
| 企業と工学 | | 2 | 有機化学実験 B | 1 | |
| インターンシップ A | | 1 | 物理化学実験 A | 1 | |
| インターンシップ B | | 2 | 物理化学実験 B | 1 | |
| 【学科専門教育科目】 | | | 化学工学実験 | 1 | |
| (応用化学基礎) | | | 有機合成化学実験 | 1 | |
| 基礎分析化学 | 2 | | 材料化学実験 | 1 | |
| 基礎無機化学 | 2 | | 応用化学創成実験 | | 2 |
| 基礎有機化学 | 2 | | 創成実習 | | 1 |
| 基礎物理化学 | 2 | | (応用化学一般) | | |
| 基礎化学工学 | 2 | | バイオテクノロジー | | 2 |
| (無機化学) | | | 応用化学セミナー | | 1 |
| 無機化学 A | | 2 | 化学英語セミナー A | | 1 |
| 無機化学 B | | 2 | 化学英語セミナー B | | 1 |
| 無機化学演習 | | 1 | 機械工学概論 | | 2 |
| 材料化学 A | | 2 | 電気工学概論 | | 2 |
| 材料化学 B | | 2 | 生物概論 | | 2 |
| 無機プロセス化学 | | 2 | 地学概論 | | 2 |
| | | | <卒業研究> | 4 | |

工学部 応用化学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 16 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 情報工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-------------------------|-----|----|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | | | |
| (共通基礎科目) | | | | | |
| 基礎数学 | | 3 | オブジェクト指向言語 | | 3 |
| 基礎物理学 | | 2 | ソフトウェア工学 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | 3 | | データベース | 2 | |
| 微分積分学Ⅱ | | 3 | データベース演習 | | 1 |
| 線形代数 | 3 | | (情報通信と高度情報処理) | | |
| 力学 | | 2 | 情報理論 | | 2 |
| 物質の科学 | | 2 | 通信工学 | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | ネットワークシステム | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | | 画像情報処理 | | 2 |
| 創造理工学実験Ⅱ | | 2 | コンピュータグラフィックス | | 2 |
| 基礎化学実験 | | 2 | 知能情報工学 | | 2 |
| (専門基盤科目) | | | 音声情報処理 | | 2 |
| ベクトル解析 | | 2 | 数値解析Ⅰ | 2 | |
| 確率統計学 | | 2 | 数値解析Ⅱ | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 | オペレーションズリサーチ | | 2 |
| 応用数学 | | 2 | (回路と信号処理) | | |
| 基礎電磁気学 | | 2 | 電気回路 | | 2 |
| 熱学 | | 2 | アナログ電子回路 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | デジタル電子回路Ⅰ | 2 | |
| 生物と工学 | | 2 | デジタル電子回路Ⅱ | | 2 |
| (複合領域科目) | | | システム制御工学 | | 2 |
| 管理工学 | | 2 | デジタル信号処理 | | 2 |
| 環境工学 | | 2 | (総合情報工学) | | |
| 安全工学 | | 2 | 情報工学実験Ⅰ | 1 | |
| 工学倫理 | | 2 | 情報工学実験Ⅱ | 1 | |
| 図学 | | 2 | 情報技術者演習A | | 1 |
| コンピュータ支援工学A | | 1 | 情報技術者演習B | | 1 |
| コンピュータ支援工学B | | 2 | 情報技術英語A | | 1 |
| 創成工学A | | 2 | 情報技術英語B | | 1 |
| 創成工学B | | 1 | 機械工学概論 | | 2 |
| 社会と工学 | | 2 | 企業情報システムと倫理 | | 2 |
| 企業と工学 | | 2 | 創成A | 1 | |
| インターンシップA | | 1 | 創成B | | 2 |
| インターンシップB | | 2 | 創成C | | 2 |
| 【学科専門教育科目】 | | | 創成D | | 2 |
| (離散数学) | | | 情報工学ゼミナール | 1 | |
| 情報数学 | 2 | | 自主研究A | | 1 |
| 形式言語とオートマトン | | 2 | 自主研究B | | 1 |
| (計算機システム) | | | 自主研究C | | 1 |
| 計算機アーキテクチャ | 2 | | 自主研究D | | 1 |
| オペレーティングシステム | | 2 | <卒業研究> | 4 | |
| コンパイラ | | 2 | | | |
| (ソフトウェアとプログラミング) | | | | | |
| データ構造とアルゴリズム | 2 | | | | |
| 計算論とプログラミング言語論 | | 2 | | | |
| 情報処理演習 | 1 | | | | |
| C言語基礎 | 3 | | | | |
| C言語応用 | 3 | | | | |
| プログラム演習 | 1 | | | | |

工学部 情報工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 12 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 72 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 ロボット理工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【工学部共通教育科目】 | | | | | |
| (共通基礎科目) | | | ロボットプログラミングⅡ | 2 | |
| 基礎数学 | | 3 | ロボットビジョン | | 2 |
| 基礎物理学 | | 2 | 機械学習 | | 2 |
| 微分積分学Ⅰ | 3 | | (制御・信号処理) | | |
| 微分積分学Ⅱ | | 3 | 電気回路 | 2 | |
| 線形代数 | 3 | | アナログ電子回路 | 2 | |
| 力学 | | 2 | デジタル電子回路 | 2 | |
| 物質の科学 | | 2 | 自動制御工学 | 2 | |
| 基礎化学 | | 2 | モータ論 | 2 | |
| 創造理工学実験Ⅰ | 2 | | 制御回路設計 | 2 | |
| 創造理工学実験Ⅱ | | 2 | デジタル信号処理 | 2 | |
| 基礎化学実験 | | 2 | センサ工学 | 2 | |
| (専門基盤科目) | | | アクチュエータ論 | | 2 |
| ベクトル解析 | | 2 | ロボットモーション | 2 | |
| 確率統計学 | | 2 | ロボットインテリジェンス | | 2 |
| 微分方程式 | | 2 | ロボットフロンティア | | 2 |
| 応用数学 | | 2 | ロボット共存社会 | | 2 |
| 基礎電磁気学 | | 2 | (生体・医療科学) | | |
| 熱学 | | 2 | システム神経科学入門 | | 2 |
| 基礎材料化学 | | 2 | 生体の構造と機能 | 2 | |
| 生物と工学 | | 2 | バイオメカニクス | | 2 |
| (複合領域科目) | | | ロボットインフォマティクス | | 2 |
| 管理工学 | | 2 | 医療工学 | | 2 |
| 環境工学 | | 2 | (創成科目) | | |
| 安全工学 | | 2 | ロボット理工学Ⅰ | 2 | |
| 工学倫理 | | 2 | ロボット理工学Ⅱ | 2 | |
| 図学 | | 2 | 加工実習 | 2 | |
| コンピュータ支援工学A | | 1 | プロジェクト演習A | 1 | |
| コンピュータ支援工学B | | 2 | プロジェクト演習B | 1 | |
| 創成工学A | | 2 | プロジェクト演習C | 1 | |
| 創成工学B | | 1 | ロボット理工学演習A | 1 | |
| 社会と工学 | | 2 | ロボット理工学演習B | 1 | |
| 企業と工学 | | 2 | ロボット理工学演習C | 1 | |
| インターンシップA | | 1 | プロダクトデザイン | | 2 |
| インターンシップB | | 2 | ゼミナールA | 1 | |
| 【学科専門教育科目】 | | | ゼミナールB | 1 | |
| (理学) | | | ゼミナールC | 1 | |
| 初等力学 | 2 | | リフレッシュ英語A | | 1 |
| 電磁気学 | 2 | | リフレッシュ英語B | | 1 |
| 材料力学 | 2 | | 英語コミュニケーションA | 1 | |
| マルチボディダイナミクス | 2 | | 英語コミュニケーションB | 1 | |
| 不可逆の科学 | | 2 | 科学技術英語A | | 1 |
| (工学設計) | | | 科学技術英語B | | 1 |
| ロボット製図 | 1 | | 自主活動A | | 1 |
| 材料科学 | 2 | | 自主活動B | | 1 |
| 加工学 | | 2 | <卒業研究> | 4 | |
| ロボットアナトミー | 2 | | | | |
| (プログラミング) | | | | | |
| ロボットプログラミングⅠ | 2 | | | | |
| ロボットオペレーティングシステム | 2 | | | | |

工学部 ロボット理工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|---------------------------|-------------|-------------|--------------|--|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 | | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語スキル I、II 科目 2 単位を含む] | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 16 単位 以上 | 84 単位 以上 | | |
| | 学科専門教育科目 | 学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて | 68 単位 以上 | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

経営情報学部 経営情報学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|-------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | | 投資決定論 | | 2 |
| 基礎ゼミナール | 1 | | (情報) | | |
| 入門ゼミナールA (導入) | | 1 | コンピュータ科学 | | 2 |
| 入門ゼミナールB (基礎) | | 1 | 情報リテラシーA (情報処理入門) | | 2 |
| 外書講読A (入門) | | 2 | 情報リテラシーB (情報処理基礎) | 2 | |
| 外書講読B (展開) | | 2 | I T 入門 | | 2 |
| 環境マネジメントシステム | | 2 | I T 基礎 | | 2 |
| 特別講義A (展開) | | 2 | 情報基礎数学 | | 2 |
| 特別講義B (応用) | | 2 | プログラミング言語A(初級) | | 4 |
| インターンシップA (導入) | | 1 | プログラミング言語B(表計算) | | 4 |
| インターンシップB (実習) | | 2 | 上級プログラミング | | 4 |
| 実践簿記 | | 2 | シミュレーション | | 2 |
| 実践情報A (情報技術入門) | | 2 | 情報管理論 | 2 | |
| 実践情報B (情報技術展開) | | 2 | 情報システム論 | | 2 |
| 【専門科目】 | | | 情報化と経営 | 2 | |
| (経営) | | | コンピュータ・アーキテクチャ | | 2 |
| 経営学入門 | 2 | | 情報ネットワーク | | 2 |
| 現代企業論 | 2 | | 情報統計学 | | 2 |
| 経営戦略論 | | 2 | 情報社会と情報倫理 | | 2 |
| 経営史 | | 2 | データベース | | 2 |
| 日本経営史 | | 2 | ネットワーク・プログラミング | | 2 |
| 中小企業経営 | | 2 | プロジェクトマネジメント論 | | 2 |
| グローバルビジネス | | 2 | マルチメディア | | 2 |
| 中部経済と産業 | | 2 | 通信メディア論 | | 2 |
| 組織行動論 | | 2 | Webデザイン | | 2 |
| 組織論 | | 2 | 経営情報システム論 | | 2 |
| 人材マネジメント | | 2 | (経済) | | |
| キャリア開発 | | 2 | 経済学入門A (原理) | 2 | |
| マーケティング論A (入門) | 2 | | 経済学入門B (基礎) | | 2 |
| 流通論 | | 2 | 経済政策 | | 2 |
| 営業管理論 | | 2 | 産業経済論 | | 2 |
| マーケティング論B (展開) | | 2 | (法律) | | |
| SCM入門 | | 2 | 経営法学入門 | 2 | |
| (会計) | | | 現代市民法 | | 2 |
| 入門簿記 | 2 | | 現代契約法 | | 2 |
| 簿記原理 | | 2 | 情報化社会と法 | | 2 |
| 上級簿記論 | | 2 | (演習等) | | |
| 株式会社社会計論 | | 2 | 専門ゼミナール I | 1 | |
| コンピュータ会計 | | 2 | 専門ゼミナール II | 1 | |
| 財務会計論A (基礎) | 2 | | <卒業研究> | 4 | |
| 財務会計論B (応用) | 2 | | | | |
| 経営分析論 | | 2 | | | |
| 会計情報システム論 | | 2 | | | |
| ビジネス・シミュレーション | | 2 | | | |
| 税務会計論 | | 2 | | | |
| 工業簿記論 | | 2 | | | |
| 原価計算論 | | 2 | | | |
| 管理会計論 | | 2 | | | |
| (財務) | | | | | |
| 証券投資 | | 2 | | | |
| 資金の調達と管理 | | 2 | | | |

経営情報学部 経営情報学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|--------------|---------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | 22 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語必修科目 2 単位、日本語スキル 2 単位、 情報スキル 2 単位を含む] | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | | | 14 単位以上 |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 86 単位 以上 | | |
| | 専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

経営情報学部 経営学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | | 財務会計論B（応用） | 2 | |
| 基礎ゼミナール | 1 | | 経営分析論 | | 2 |
| 入門ゼミナールA（導入） | | 1 | 税務会計論 | | 2 |
| 入門ゼミナールB（基礎） | | 1 | 工業簿記論 | | 2 |
| 外書講読A（入門） | | 2 | 原価計算論 | | 2 |
| 外書講読B（展開） | | 2 | 管理会計論 | | 2 |
| 環境マネジメントシステム | | 2 | （財務） | | |
| 特別講義A（展開） | | 2 | 証券投資 | | 2 |
| 特別講義B（応用） | | 2 | 資金の調達と管理 | | 2 |
| インターンシップA（導入） | | 1 | 投資決定論 | | 2 |
| インターンシップB（実習） | | 2 | （情報） | | |
| 実践簿記 | | 2 | 情報リテラシーA（情報処理入門） | | 2 |
| 実践情報A（情報技術入門） | | 2 | 情報リテラシーB（情報処理基礎） | 2 | |
| 実践情報B（情報技術展開） | | 2 | データベース | | 2 |
| 【専門科目】 | | | プログラミング入門 | | 4 |
| （総合経営） | | | 情報化と経営 | | 2 |
| 経営学入門 | 2 | | Webデザイン | | 2 |
| 経営学概論 | | 2 | 情報社会と情報倫理 | | 2 |
| 企業と社会 | | 2 | （経済） | | |
| 現代企業論 | 2 | | 経済学入門A（原理） | 2 | |
| 経営戦略論 | | 2 | 経済学入門B（基礎） | | 2 |
| 経営史 | | 2 | 日本経済入門 | | 2 |
| 日本経営史 | | 2 | 経済政策 | | 2 |
| 中小企業経営 | | 2 | 金融論 | | 2 |
| 中小企業の経営革新 | | 2 | 財政学 | | 2 |
| ベンチャービジネス | | 2 | 産業経済論 | | 2 |
| グローバルビジネス | | 2 | 国際経済学 | | 2 |
| 中部経済と産業 | | 2 | 国際金融論 | | 2 |
| （人と組織） | | | （法律） | | |
| 組織行動論 | 2 | | 経営法学入門 | 2 | |
| 組織心理学 | | 2 | 現代市民法 | | 2 |
| オーガニゼーション | | 2 | 現代企業法 | | 2 |
| 組織とマネジメント | | 2 | 現代契約法 | | 2 |
| 人材マネジメント | | 2 | 情報化社会と法 | | 2 |
| 人材戦略論 | | 2 | （演習等） | | |
| キャリア開発 | | 2 | 専門ゼミナールⅠ | 1 | |
| （マーケティング） | | | 専門ゼミナールⅡ | 1 | |
| マーケティング論A（入門） | 2 | | <卒業研究> | 4 | |
| 広告論 | | 2 | | | |
| 流通論 | | 2 | | | |
| 営業管理論 | | 2 | | | |
| マーケティング論B（展開） | | 2 | | | |
| （生産管理） | | | | | |
| SCM入門 | | 2 | | | |
| 生産管理入門 | 2 | | | | |
| （会計） | | | | | |
| 入門簿記 | 2 | | | | |
| 簿記原理 | | 2 | | | |
| 上級簿記論 | | 2 | | | |
| 株式会社社会計論 | | 2 | | | |
| 財務会計論A（基礎） | 2 | | | | |

経営情報学部 経営学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|--------------|---------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | 22 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語必修科目 2 単位、日本語スキル 2 単位、 情報スキル 2 単位を含む] | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | | | 14 単位以上 |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 86 単位 以上 | | |
| | 専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

経営情報学部 経営会計学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| 基礎ゼミナール | 1 | |
| 入門ゼミナールA (導入) | | 1 |
| 入門ゼミナールB (基礎) | | 1 |
| 外書講読A (入門) | | 2 |
| 外書講読B (展開) | | 2 |
| 環境マネジメントシステム | | 2 |
| 特別講義A (展開) | | 2 |
| 特別講義B (応用) | | 2 |
| インターンシップA (導入) | | 1 |
| インターンシップB (実習) | | 2 |
| 実践簿記 | | 2 |
| 実践情報A (情報技術入門) | | 2 |
| 実践情報B (情報技術展開) | | 2 |
| 【専門科目】 | | |
| (総合経営) | | |
| 経営学入門 | 2 | |
| 企業と社会 | | 2 |
| 現代企業論 | 2 | |
| 経営戦略論 | | 2 |
| 経営史 | | 2 |
| 中小企業経営 | | 2 |
| グローバルビジネス | | 2 |
| 中部経済と産業 | | 2 |
| (人と組織) | | |
| 組織行動論 | | 2 |
| 組織心理学 | | 2 |
| オーガニゼーション | | 2 |
| 組織とマネジメント | | 2 |
| 人材マネジメント | | 2 |
| キャリア開発 | | 2 |
| (マーケティング) | | |
| マーケティング論A (入門) | 2 | |
| 流通論 | | 2 |
| 営業管理論 | | 2 |
| ビジネス英語実務 | | 2 |
| マーケティング論B (展開) | | 2 |
| (生産管理) | | |
| SCM入門 | | 2 |
| (財務会計) | | |
| 入門簿記 | 2 | |
| 簿記原理 | 2 | |
| 上級簿記論 | | 2 |
| 株式会社社会計論 | | 2 |
| コンピュータ会計 | | 2 |
| 財務会計論A (基礎) | 2 | |
| 財務会計論B (応用) | 2 | |
| 国際会計論 | | 2 |
| 上級会計学A (会計学展開) | | 2 |
| 上級会計学B (会計学応用) | | 2 |
| 経営分析論 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 会計情報システム論 | | 2 |
| ビジネス・シミュレーション | | 2 |
| 税務会計論 | | 2 |
| (監査) | | |
| 監査論 | | 2 |
| (管理会計) | | |
| 工業簿記論 | | 2 |
| 原価計算論 | | 2 |
| 管理会計論 | | 2 |
| コスト・マネジメント | | 2 |
| (財務) | | |
| 証券投資 | | 2 |
| 資金の調達と管理 | | 2 |
| 投資決定論 | | 2 |
| (情報) | | |
| コンピュータ科学 | | 2 |
| 情報リテラシーA (情報処理入門) | | 2 |
| 情報リテラシーB (情報処理基礎) | 2 | |
| プログラミング入門 | | 4 |
| シミュレーション | | 2 |
| 情報管理論 | | 2 |
| 情報システム論 | | 2 |
| 情報化と経営 | 2 | |
| 確率・統計入門 | | 2 |
| データベース | | 2 |
| 情報社会と情報倫理 | | 2 |
| Webデザイン | | 2 |
| 経営情報システム論 | | 2 |
| (経済) | | |
| 経済学入門A (原理) | 2 | |
| 経済学入門B (基礎) | | 2 |
| 経済政策 | | 2 |
| 金融論 | | 2 |
| 財政学 | | 2 |
| 産業経済論 | | 2 |
| (法律) | | |
| 経営法学入門 | 2 | |
| 現代市民法 | | 2 |
| 現代企業法 | | 2 |
| 現代契約法 | | 2 |
| 情報化社会と法 | | 2 |
| (演習) | | |
| 専門ゼミナールⅠ | 1 | |
| 専門ゼミナールⅡ | 1 | |
| <卒業研究> | | 4 |

経営情報学部 経営会計学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|--------------|---------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | 22 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語必修科目 2 単位、日本語スキル 2 単位、 情報スキル 2 単位を含む] | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | | | 14 単位以上 |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 86 単位 以上 | | |
| | 専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | | |
| | | 卒業研究（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

国際関係学部 国際関係学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| (学部基礎科目) | | |
| 国際関係入門A | | 2 |
| 国際関係入門B | | 2 |
| 地域研究入門A | | 2 |
| 地域研究入門B | | 2 |
| (地域研究科目) | | |
| 東アジアを知るA | | 2 |
| 東アジアを知るB | | 2 |
| 東南アジアを知る | | 2 |
| アフリカを知る | | 2 |
| 中東を知る | | 2 |
| ヨーロッパを知る | | 2 |
| ラテンアメリカを知る | | 2 |
| 北米を知るA | | 2 |
| 北米を知るB | | 2 |
| 地域研究特殊講義 | | 2 |
| (自由選択科目) | | |
| 政治学概論 | | 2 |
| 法学概論 | | 2 |
| 経済学概論 | | 2 |
| 社会心理学 | | 2 |
| 環境論 | | 2 |
| 考古学 | | 2 |
| 世界史概論 | | 2 |
| 日本の歴史と文化 | | 2 |
| 西洋思想史 | | 2 |
| 西洋美術史 | | 2 |
| 日本外交史 | | 2 |
| 地誌A | | 2 |
| 地誌B | | 2 |
| 音声学 | | 2 |
| 音韻論 | | 2 |
| 比較言語学 | | 2 |
| 社会言語学 | | 2 |
| 日本語教授法A | | 2 |
| 日本語教授法B | | 2 |
| 日本語教授法C | | 2 |
| 日本語教授法D | | 2 |
| 日本語教育実習 | | 1 |
| (学外実践科目) | | |
| 海外留学A | | 2 |
| 海外留学B | | 2 |
| 海外留学C | | 2 |
| 海外留学D | | 2 |
| 海外留学E | | 2 |
| 海外留学F | | 2 |
| 海外留学G | | 2 |
| フィールドワークA | | 1 |
| フィールドワークB | | 1 |
| フィールドワークC | | 1 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 【学科専門科目】 | | |
| (地域言語科目) | | |
| 国際英語ⅠA | | 1 |
| 国際英語ⅠB | | 1 |
| 国際英語ⅠC | | 1 |
| 国際英語ⅡA | | 1 |
| 国際英語ⅡB | | 1 |
| 国際英語ⅡC | | 1 |
| 国際英語Ⅲ | | 2 |
| 国際英語Ⅳ | | 2 |
| 国際時事英語A | | 1 |
| 国際時事英語B | | 1 |
| 国際ビジネス英語A | | 1 |
| 国際ビジネス英語B | | 1 |
| 中国語Ⅰ | | 2 |
| 中国語Ⅱ | | 2 |
| 中国語Ⅲ | | 1 |
| 中国語Ⅳ | | 1 |
| ドイツ語Ⅰ | | 2 |
| ドイツ語Ⅱ | | 2 |
| ドイツ語Ⅲ | | 1 |
| ドイツ語Ⅳ | | 1 |
| フランス語Ⅰ | | 2 |
| フランス語Ⅱ | | 2 |
| フランス語Ⅲ | | 1 |
| フランス語Ⅳ | | 1 |
| スペイン語Ⅰ | | 2 |
| スペイン語Ⅱ | | 2 |
| スペイン語Ⅲ | | 1 |
| スペイン語Ⅳ | | 1 |
| 韓国語Ⅰ | | 2 |
| 韓国語Ⅱ | | 2 |
| 韓国語Ⅲ | | 1 |
| 韓国語Ⅳ | | 1 |
| 国際地域言語A | | 1 |
| 国際地域言語B | | 1 |
| 外国語コミュニケーションA | | 1 |
| 外国語コミュニケーションB | | 1 |
| (学科基礎科目) | | |
| 国際関係論 | | 2 |
| 国際政治入門 | | 2 |
| 国際法入門 | | 2 |
| 国際経済入門 | | 2 |
| 国際協力入門 | | 2 |
| 国際社会政策入門 | | 2 |
| (国際政治科目) | | |
| 国際政治学 | | 2 |
| 国際政治史 | | 2 |
| 国際法 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 国際機構 | | 2 |
| 平和学 | | 2 |
| 人間安全保障論 (国際経済科目) | | 2 |
| 国際経済学 | | 2 |
| 制度経済学 | | 2 |
| 貿易論 | | 2 |
| 開発経済学 | | 2 |
| 国際金融論 | | 2 |
| 国際経済史 | | 2 |
| 計量経済学 (国際開発協力科目) | | 2 |
| 国際協力論 | | 2 |
| 国際公共政策論 | | 2 |
| NGO/NPO論 | | 2 |
| 社会開発論 | | 2 |
| 地域開発論 | | 2 |
| 環境と開発 | | 2 |
| ジェンダーと開発 (学科共通科目) | | 2 |
| 国際関係特論A | | 2 |
| 国際関係特論B | | 2 |
| (演習科目) | | |
| 基礎演習 | 1 | |
| プレ演習A | 1 | |
| プレ演習B | 1 | |
| 演習A | 1 | |
| 演習B | 1 | |
| <卒業研究> | 4 | |

国際関係学部 国際関係学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------|---|-------------|--------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語以外の同一の外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通 科目 | 学部基礎科目 | 6 単位以上 | 90 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | | 地域研究科目 | 4 単位以上 | | |
| | | 自由選択科目 | | | |
| | | 学外実践科目 | | | |
| | 学科専門 科目 | 地域言語科目 | 12 単位以上 | | |
| | | 学科基礎科目 | 8 単位以上 | | |
| | | 国際政治科目 | 24 単位以上取得すること。ただし、国際政治科目・国際経済科目・国際開発協力科目のそれぞれから、4 単位以上取得すること。 | | |
| | | 国際経済科目 | | | |
| | | 国際開発協力科目 | | | |
| | | 学科共通科目 | | | |
| | | 演習科目 | 5 単位（必修） | | |
| 卒業研究 | 4 単位（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

国際関係学部 国際文化学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| (学部基礎科目) | | |
| 国際関係入門A | | 2 |
| 国際関係入門B | | 2 |
| 地域研究入門A | | 2 |
| 地域研究入門B | | 2 |
| (地域研究科目) | | |
| 東アジアを知るA | | 2 |
| 東アジアを知るB | | 2 |
| 東南アジアを知る | | 2 |
| アフリカを知る | | 2 |
| 中東を知る | | 2 |
| ヨーロッパを知る | | 2 |
| ラテンアメリカを知る | | 2 |
| 北米を知るA | | 2 |
| 北米を知るB | | 2 |
| 地域研究特殊講義 | | 2 |
| (自由選択科目) | | |
| 政治学概論 | | 2 |
| 法学概論 | | 2 |
| 経済学概論 | | 2 |
| 社会心理学 | | 2 |
| 環境論 | | 2 |
| 考古学 | | 2 |
| 世界史概論 | | 2 |
| 日本の歴史と文化 | | 2 |
| 西洋思想史 | | 2 |
| 西洋美術史 | | 2 |
| 日本外交史 | | 2 |
| 地誌A | | 2 |
| 地誌B | | 2 |
| 音声学 | | 2 |
| 音韻論 | | 2 |
| 比較言語学 | | 2 |
| 社会言語学 | | 2 |
| 日本語教授法A | | 2 |
| 日本語教授法B | | 2 |
| 日本語教授法C | | 2 |
| 日本語教授法D | | 2 |
| 日本語教育実習 | | 1 |
| (学外実践科目) | | |
| 海外留学A | | 2 |
| 海外留学B | | 2 |
| 海外留学C | | 2 |
| 海外留学D | | 2 |
| 海外留学E | | 2 |
| 海外留学F | | 2 |
| 海外留学G | | 2 |
| フィールドワークA | | 1 |
| フィールドワークB | | 1 |
| フィールドワークC | | 1 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 【学科専門科目】 | | |
| (地域言語科目) | | |
| 国際英語ⅠA | | 1 |
| 国際英語ⅠB | | 1 |
| 国際英語ⅠC | | 1 |
| 国際英語ⅡA | | 1 |
| 国際英語ⅡB | | 1 |
| 国際英語ⅡC | | 1 |
| 国際英語Ⅲ | | 2 |
| 国際英語Ⅳ | | 2 |
| 国際情報英語 | | 1 |
| 国際観光・ホテル英語 | | 1 |
| 中国語Ⅰ | | 2 |
| 中国語Ⅱ | | 2 |
| 中国語Ⅲ | | 1 |
| 中国語Ⅳ | | 1 |
| ドイツ語Ⅰ | | 2 |
| ドイツ語Ⅱ | | 2 |
| ドイツ語Ⅲ | | 1 |
| ドイツ語Ⅳ | | 1 |
| フランス語Ⅰ | | 2 |
| フランス語Ⅱ | | 2 |
| フランス語Ⅲ | | 1 |
| フランス語Ⅳ | | 1 |
| スペイン語Ⅰ | | 2 |
| スペイン語Ⅱ | | 2 |
| スペイン語Ⅲ | | 1 |
| スペイン語Ⅳ | | 1 |
| 韓国語Ⅰ | | 2 |
| 韓国語Ⅱ | | 2 |
| 韓国語Ⅲ | | 1 |
| 韓国語Ⅳ | | 1 |
| 国際地域言語A | | 1 |
| 国際地域言語B | | 1 |
| 外国語コミュニケーションA | | 1 |
| 外国語コミュニケーションB | | 1 |
| (学科基礎科目) | | |
| 文化人類学入門 | 2 | |
| 社会学入門 | 2 | |
| 留学論 | | 2 |
| 言語学入門 | | 2 |
| 文化比較論 | | 2 |
| (学科基幹科目) | | |
| 文化人類学 | | 2 |
| フィールドワーク論 | | 2 |
| 社会学 | | 2 |
| 社会調査法 | | 2 |
| 言語学 | | 2 |
| 世界遺産を学ぶ | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (学科発展科目) | | |
| 宗教人類学 | | 2 |
| 比較宗教学 | | 2 |
| 博物館と文化 | | 2 |
| 観光人類学 | | 2 |
| 比較社会論 | | 2 |
| 社会思想史 | | 2 |
| 人間と環境 | | 2 |
| 人文地理学 | | 2 |
| ヨーロッパ地域研究 | | 2 |
| 南北アメリカ地域研究 | | 2 |
| アジア・オセアニア地域研究 | | 2 |
| 中東・アフリカ地域研究 | | 2 |
| (演習科目) | | |
| 基礎演習 | 1 | |
| 研究入門A | 1 | |
| 研究入門B | 1 | |
| 演習A | 1 | |
| 演習B | 1 | |
| <卒業研究> | 4 | |

国際関係学部 国際文化学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------|--|-------------|--------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語以外の同一の外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通 科目 | 学部基礎科目 | 6 単位以上 | 90 単位 以上 | |
| | | 地域研究科目 | 8 単位以上 | | |
| | | 自由選択科目 | | | |
| | | 学外実践科目 | | | |
| | 学科専門 科目 | 地域言語科目 | 14 単位以上 | | |
| | | 学科基礎科目 | 必修科目を含めて 6 単位以上 | | |
| | | 学科基幹科目 | 6 単位以上 | | |
| | | 学科発展科目 | 12 単位以上 | | |
| | | 演習科目 | 5 単位（必修） | | |
| | | 卒業研究 | 4 単位（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

国際関係学部 中国語中国関係学科 専門教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|-------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | | インターンシップ A | | 1 |
| (学部基礎科目) | | | インターンシップ B | | 2 |
| 国際関係入門 A | | 2 | 【学科専門科目】 | | |
| 国際関係入門 B | | 2 | (学科基礎科目) | | |
| 地域研究入門 A | | 2 | 中国研究入門 A | 2 | |
| 地域研究入門 B | | 2 | 中国研究入門 B | 2 | |
| (地域研究科目) | | | 文化人類学入門 | | 2 |
| 東アジアを知る A | | 2 | 社会学入門 | | 2 |
| 東アジアを知る B | | 2 | 国際政治入門 | | 2 |
| 東南アジアを知る | | 2 | 国際経済入門 | | 2 |
| アフリカを知る | | 2 | 文化比較論 | | 2 |
| 中東を知る | | 2 | 言語学入門 | | 2 |
| ヨーロッパを知る | | 2 | (中国語コミュニケーション科目) | | |
| ラテンアメリカを知る | | 2 | 中国語 I A | | 2 |
| 北米を知る A | | 2 | 中国語 I B | | 2 |
| 北米を知る B | | 2 | 中国語 II A | | 2 |
| 地域研究特殊講義 | | 2 | 中国語 II B | | 2 |
| (自由選択科目) | | | 中国語 III A | | 2 |
| 政治学概論 | | 2 | 中国語 III B | | 2 |
| 法学概論 | | 2 | 中国語 IV A | | 2 |
| 経済学概論 | | 2 | 中国語 IV B | | 2 |
| 社会心理学 | | 2 | 中国語 V A | | 2 |
| 環境論 | | 2 | 中国語 V B | | 2 |
| 考古学 | | 2 | 中国語 VI A | | 2 |
| 世界史概論 | | 2 | 中国語 VI B | | 2 |
| 日本の歴史と文化 | | 2 | 中国語 VII | | 2 |
| 西洋思想史 | | 2 | 中国語 VIII | | 2 |
| 西洋美術史 | | 2 | ビジネス中国語 A | | 2 |
| 日本外交史 | | 2 | ビジネス中国語 B | | 2 |
| 地誌 A | | 2 | 資格中国語 A | 2 | |
| 地誌 B | | 2 | 資格中国語 B | 2 | |
| 音声学 | | 2 | 上級中国語 A | 2 | |
| 音韻論 | | 2 | 上級中国語 B | 2 | |
| 比較言語学 | | 2 | 留学中国語 A | | 1 |
| 社会言語学 | | 2 | 留学中国語 B | | 1 |
| 日本語教授法 A | | 2 | 留学中国語 C | | 1 |
| 日本語教授法 B | | 2 | (地域言語科目) | | |
| 日本語教授法 C | | 2 | 地域言語 A | | 2 |
| 日本語教授法 D | | 2 | 地域言語 B | | 2 |
| 日本語教育実習 | | 1 | 地域言語 C | | 2 |
| (学外実践科目) | | | 地域言語 D | | 2 |
| 海外留学 A | | 2 | (中国言語研究科目) | | |
| 海外留学 B | | 2 | 中国語研究 A | | 2 |
| 海外留学 C | | 2 | 中国語研究 B | | 2 |
| 海外留学 D | | 2 | 中国言語文化研究 A | | 2 |
| 海外留学 E | | 2 | 中国言語文化研究 B | | 2 |
| 海外留学 F | | 2 | (中国研究科目) | | |
| 海外留学 G | | 2 | 中国政治論 | 2 | |
| フィールドワーク A | | 1 | 中国国際関係研究 | | 2 |
| フィールドワーク B | | 1 | 日中関係論 | | 2 |
| フィールドワーク C | | 1 | 日中社会比較研究 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 中国経済論 | | 2 |
| 中国経営論 | 2 | |
| 中国ビジネス論 A | | 2 |
| 中国ビジネス論 B | | 2 |
| 中国歴史研究 | | 2 |
| 中国文学研究 | | 2 |
| 日中思想比較研究 | | 2 |
| 日中環境論 | | 2 |
| 中国社会研究特殊講義 A | | 2 |
| 中国社会研究特殊講義 B | | 2 |
| (演習科目) | | |
| 基礎演習 | 1 | |
| 研究入門 A | 1 | |
| 研究入門 B | 1 | |
| 演習 A | 1 | |
| 演習 B | 1 | |
| <卒業研究> | 4 | |

国際関係学部 中国語中国関係学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------|--|-------------|--------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語スキル 2 単位、日本語スキル 2 単位、 情報スキル 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通 科目 | 学部基礎科目 | 6 単位以上 | 90 単位 以上 | |
| | | 地域研究科目 | 4 単位以上 | | |
| | | 自由選択科目 | | | |
| | | 学外実践科目 | | | |
| | 学科専門 科目 | 学科基礎科目 | 必修科目を含めて 6 単位以上 | | |
| | | 中国語コミュニケーション科目 | 必修科目を含めて 26 単位以上 | | |
| | | 地域言語科目 | | | |
| | | 中国言語研究科目 | 4 単位以上 | | |
| | | 中国研究科目 | 必修を含めて 10 単位以上 | | |
| | | 演習科目 | 5 単位（必修） | | |
| | | 卒業研究 | 4 単位（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 日本語日本文化学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| 上級日本語表現 | | 2 |
| ビジネススキルアップA | | 2 |
| ビジネススキルアップB | | 2 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 文系パソコン活用A | | 1 |
| 文系パソコン活用B | | 1 |
| 長期海外研修A | | 2 |
| 長期海外研修B | | 2 |
| 長期海外研修C | | 2 |
| 長期海外研修D | | 2 |
| 【基礎科目】 | | |
| (言語分野) | | |
| 日本語学入門A | | 2 |
| 日本語学入門B | | 2 |
| 日本語学文献講読A | | 2 |
| 日本語学文献講読B | | 2 |
| 日本語教育概論A | | 2 |
| 日本語教育概論B | | 2 |
| (文学分野) | | |
| 日本文学入門A | | 2 |
| 日本文学入門B | | 2 |
| 近現代文学講読A | | 2 |
| 近現代文学講読B | | 2 |
| 古典文学講読A | | 2 |
| 古典文学講読B | | 2 |
| (文化分野) | | |
| 日本文化史入門 | | 2 |
| 民俗学入門 | | 2 |
| 伝承文化入門 | | 2 |
| 宗教学入門 | | 2 |
| 日本文化文献講読A | | 2 |
| 日本文化文献講読B | | 2 |
| 日本文化文献講読C | | 2 |
| 日本文化文献講読D | | 2 |
| 【研究科目】 | | |
| (言語分野) | | |
| 日本語講義A | | 2 |
| 日本語講義B | | 2 |
| 日本語の歴史 | | 2 |
| 日本語研究史 | | 2 |
| 現代日本語論A | | 2 |
| 現代日本語論B | | 2 |
| 日本語教育学講義A | | 2 |
| 日本語教育学講義B | | 2 |
| 日本語教授法A | | 2 |
| 日本語教授法B | | 2 |
| 日本語教授法C | | 2 |
| 日本語教授法D | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (文学分野) | | |
| 日本文学史A | | 2 |
| 日本文学史B | | 2 |
| 古典文学講義A | | 2 |
| 古典文学講義B | | 2 |
| 近現代文学講義A | | 2 |
| 近現代文学講義B | | 2 |
| 日本文学特講A | | 2 |
| 日本文学特講B | | 2 |
| 日本文学特講C | | 2 |
| 日本文学特講D | | 2 |
| (文化分野) | | |
| 日本の文化A | | 2 |
| 日本の文化B | | 2 |
| 民俗調査研究法A | | 2 |
| 民俗調査研究法B | | 2 |
| 民間伝承論A | | 2 |
| 民間伝承論B | | 2 |
| 伝統芸能論 | | 2 |
| 遊戯論 | | 2 |
| 【演習科目】 | | |
| 基礎演習 | 1 | |
| 日本語学演習A | | 1 |
| 日本語学演習B | | 1 |
| 日本文学演習A | | 1 |
| 日本文学演習B | | 1 |
| 日本文化演習A | | 1 |
| 日本文化演習B | | 1 |
| 【関連科目】 | | |
| 書道A | | 2 |
| 書道B | | 2 |
| 言語学A | | 2 |
| 言語学B | | 2 |
| 考古学A | | 2 |
| 考古学B | | 2 |
| 比較文化論 | | 2 |
| 漢文学 | | 2 |
| 中国文学 | | 2 |
| 日本語教育実習 | | 1 |
| <卒業研究> | 4 | |

人文学部 日本語日本文化学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------|----------|-----------------|---|---------|----------|
| 全学共通教育科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位以上 | 124 単位以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語必修科目 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部教育科目 | 学部共通科目 | | | 90 単位以上 | |
| | 基礎科目 | 言語分野 | 「入門」・「概論」科目から 12 単位以上、 「講読」科目から 4 単位以上取得 | | |
| | | 文学分野 | | | |
| | | 文化分野 | | | |
| | 研究科目 | 言語分野 | 10 単位以上 | | |
| | | 文学分野 | | | |
| | | 文化分野 | | | |
| 演習科目 | | 必修科目を含めて 3 単位以上 | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 卒業研究 | | 4 単位（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 英語英米文化学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| 上級日本語表現 | | 2 |
| ビジネススキルアップA | | 2 |
| ビジネススキルアップB | | 2 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 文系パソコン活用A | | 1 |
| 文系パソコン活用B | | 1 |
| 長期海外研修A | | 2 |
| 長期海外研修B | | 2 |
| 長期海外研修C | | 2 |
| 長期海外研修D | | 2 |
| 【基礎科目】 | | |
| 専門基礎 | 1 | |
| 言語学入門A | | 2 |
| 言語学入門B | | 2 |
| 英米文化入門A | | 2 |
| 英米文化入門B | | 2 |
| 異文化適応入門 | | 2 |
| 【英語コミュニケーション科目】 | | |
| Integrated English A | 2 | |
| Integrated English B | 2 | |
| Integrated English C | | 2 |
| Integrated English D | | 2 |
| Integrated English E | | 2 |
| Integrated English F | | 2 |
| English for Academic Purposes A | 2 | |
| English for Academic Purposes B | 2 | |
| English for Academic Purposes C | | 2 |
| English for Academic Purposes D | | 2 |
| TOEIC演習A | 1 | |
| TOEIC演習B | 1 | |
| TOEIC演習C | 1 | |
| Communicative Grammar A | | 2 |
| Communicative Grammar B | | 2 |
| Academic Writing A | 1 | |
| Academic Writing B | 1 | |
| ビジネス英語A | | 1 |
| ビジネス英語B | | 1 |
| 観光英語A | | 1 |
| 観光英語B | | 1 |
| 通訳英語 | | 1 |
| 翻訳英語 | | 1 |
| 発音クリニック | | 1 |
| 【英語研究科目】 | | |
| 英語の発音A | | 2 |
| 英語の発音B | | 2 |
| 英語のしくみA | | 2 |
| 英語のしくみB | | 2 |
| 英語の歴史A | | 2 |
| 英語の歴史B | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| グローバル英語A | | 2 |
| グローバル英語B | | 2 |
| 早期英語教育論A | | 2 |
| 早期英語教育論B | | 2 |
| 応用言語学A | | 2 |
| 応用言語学B | | 2 |
| 英語で学ぶ言語習得論A | | 2 |
| 英語で学ぶ言語習得論B | | 2 |
| 長期海外研修E | | 2 |
| 長期海外研修F | | 2 |
| 長期海外研修G | | 2 |
| 【英米文化研究科目】 | | |
| 英米の文学A | | 2 |
| 英米の文学B | | 2 |
| 英米の歴史と社会A | | 2 |
| 英米の歴史と社会B | | 2 |
| 英米の文化A | | 2 |
| 英米の文化B | | 2 |
| 日・欧・米比較文化論A | | 2 |
| 日・欧・米比較文化論B | | 2 |
| 異文化コミュニケーション論A | | 2 |
| 異文化コミュニケーション論B | | 2 |
| 英語で学ぶオーストラリア事情 | | 2 |
| 英語で学ぶアメリカ事情 | | 2 |
| 英語で学ぶイギリス事情 | | 2 |
| 英語で学ぶ世界事情 | | 2 |
| 長期海外研修H | | 2 |
| 長期海外研修I | | 2 |
| 長期海外研修J | | 2 |
| 【演習科目】 | | |
| 英語英米文化演習A | 1 | |
| 英語英米文化演習B | 1 | |
| 英語英米文化演習C | 1 | |
| 英語英米文化演習D | 1 | |
| 【自主研究】 | | |
| 自主研究 | | 2 |
| English for Social Change | | 2 |
| 【関連科目】 | | |
| 日本語教授法A | | 2 |
| 日本語教授法B | | 2 |
| 日本語教授法C | | 2 |
| 日本語教授法D | | 2 |
| <卒業研究> | 4 | |

人文学部 英語英米文化学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|-----------------|----------------------|-------------|--------------|---------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語以外の外国語 2 単位以上を含む] | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | | | 10 単位以上 |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | | 90 単位 以上 | | |
| | 基礎科目 | 必修科目を含めて 8 単位以上 | | | |
| | 英語コミュニケーション科目 | 必修科目を含めて 28 単位以上 | | | |
| | 英語研究科目 | 32 単位以上 | | | |
| | 英米文化研究科目 | | | | |
| | 演習科目 | 4 単位（必修） | | | |
| | 自主研究 | | | | |
| | 関連科目 | | | | |
| 卒業研究 | 4 単位（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 コミュニケーション学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|--------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | | (社会コミュニケーション・コース) | | |
| 上級日本語表現 | | 2 | 社会の心理 | | 2 |
| ビジネススキルアップA | | 2 | 社会とことば | | 2 |
| ビジネススキルアップB | | 2 | メディアとことば | | 2 |
| インターンシップA | | 1 | 地域とコミュニケーション | | 2 |
| インターンシップB | | 2 | 家族とコミュニケーション | | 2 |
| 文系パソコン活用A | | 1 | ヘルスコミュニケーション | | 2 |
| 文系パソコン活用B | | 1 | 広告とコミュニケーション | | 2 |
| 長期海外研修A | | 2 | (映像コミュニケーション・コース) | | |
| 長期海外研修B | | 2 | 映画史 | | 2 |
| 長期海外研修C | | 2 | 映画研究 | | 2 |
| 長期海外研修D | | 2 | 映像分析 | | 2 |
| 【学科共通科目】 | | | 音響分析 | | 2 |
| (スキル科目) | | | 映像制作D | | 2 |
| 日本語表現A | 1 | | アニメーション制作B | | 2 |
| 日本語表現B | 1 | | 音響表現 | | 2 |
| 日本語表現C | 1 | | 【演習科目】 | | |
| 社会調査法 | 1 | | フレッシュマン・セミナー | 1 | |
| 映像制作A | | 2 | メディア・コミュニケーション研究A | 1 | |
| 映像制作B | | 2 | メディア・コミュニケーション研究B | 1 | |
| 映像制作C | | 2 | メディア・コミュニケーション研究C | 1 | |
| アニメーション制作A | | 2 | メディア・コミュニケーション研究D | 1 | |
| グローバル・メディア実習A | 1 | | 【関連科目】 | | |
| グローバル・メディア実習B | 1 | | 日本語教授法A | | 2 |
| (学術科目) | | | 日本語教授法B | | 2 |
| 現代文化史 | | 2 | 日本語教授法C | | 2 |
| 社会学 | | 2 | 日本語教授法D | | 2 |
| 心理学 | | 2 | 行動科学A | | 2 |
| 言語コミュニケーション | | 2 | 行動科学B | | 2 |
| コミュニケーション論 | | 2 | 現代思想 | | 2 |
| メディアと歴史 | | 2 | 世界の中の日本(歴史) | | 2 |
| メディア・クリティシズムA | 2 | | 女性の歴史 | | 2 |
| メディア・クリティシズムB | 2 | | 技術の歴史 | | 2 |
| 現代芸術 | | 2 | 地域と環境 | | 2 |
| 記号修辞論 | | 2 | 日本地誌 | | 2 |
| 比較文化論 | | 2 | 法学概論 | | 2 |
| メディア産業論 | | 2 | 政治学概論 | | 2 |
| 表現と倫理 | | 2 | 哲学概論 | | 2 |
| メディア・コミュニケーション特講 | | 2 | 経済学概論 | | 2 |
| 政治とコミュニケーション | | 2 | アジアの歴史A | | 2 |
| 情報流通研究 | | 2 | ヨーロッパの歴史 | | 2 |
| メディア・テクノロジー | | 2 | 地域と都市 | | 2 |
| 【コース科目】 | | | <卒業研究> | 4 | |
| (ジャーナリズム・コース) | | | | | |
| ジャーナリズム論 | | 2 | | | |
| 活字ジャーナリズム史 | | 2 | | | |
| ニュース記事・編集 | | 2 | | | |
| 新聞研究 | | 2 | | | |
| 放送ジャーナリズム史 | | 2 | | | |
| トーク撮影録音 | | 2 | | | |
| テレビ放送研究 | | 2 | | | |

人文学部 コミュニケーション学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------------|--|-------------|--------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [外国語 4 単位（英語必修科目 2 単位を含む）、日本語スキル科目 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | | | 90 単位 以上 | |
| | 学科共 通科目 | スキル科目 | 必修科目を含めて 8 単位以上 | | |
| | | 学術科目 | 必修科目を含めて 30 単位以上 | | |
| | コース 科目 | ジャーナリズム・コース科目 | いずれかのコースを選択してそのコース 科目から 10 単位以上、計 18 単位以上 | | |
| | | 社会コミュニケーション・コース科目 | | | |
| | | 映像コミュニケーション・コース科目 | | | |
| | 演習科目 | | 5 単位（必修） | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 卒業研究 | | 4 単位（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 心理学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| 上級日本語表現 | | 2 |
| ビジネススキルアップA | | 2 |
| ビジネススキルアップB | | 2 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 文系パソコン活用A | | 1 |
| 文系パソコン活用B | | 1 |
| 長期海外研修A | | 2 |
| 長期海外研修B | | 2 |
| 長期海外研修C | | 2 |
| 長期海外研修D | | 2 |
| 【心理学基礎科目】 | | |
| 心理学実習A（実験法） | 2 | |
| 心理学実習B（質問紙法） | 2 | |
| 心理学実習C（検査法） | | 2 |
| 心理学実習D（面接法） | | 2 |
| 心理学実習E（フィールド・スタディ） | | 1 |
| 認知心理学実習 | | 2 |
| 心理学概論A | 2 | |
| 心理学概論B | | 2 |
| 心理学史 | | 2 |
| 心理統計学A | | 2 |
| 心理統計学B | | 2 |
| 心理統計学C | | 2 |
| 心理データ解析A | | 2 |
| 心理データ解析B | | 2 |
| 心理データ解析C | | 2 |
| 【心理学専門分野科目】 | | |
| （認知心理系） | | |
| 実験心理学 | | 2 |
| 認知心理学A | | 2 |
| 認知心理学B | | 2 |
| 認知心理学C | | 2 |
| 認知心理学D | | 2 |
| （教育・発達心理系） | | |
| 学校心理学A | | 2 |
| 学校心理学B | | 2 |
| 教育心理学A | | 2 |
| 教育心理学B | | 2 |
| 発達心理学A | | 2 |
| 発達心理学B | | 2 |
| （社会・文化心理系） | | |
| パーソナリティ心理学 | | 2 |
| 社会心理学A | | 2 |
| 社会心理学B | | 2 |
| 社会心理学C | | 2 |
| 文化心理学A | | 2 |
| 文化心理学B | | 2 |
| （臨床心理系） | | |
| 臨床心理学A | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 臨床心理学B | | 2 |
| 臨床心理学C | | 2 |
| 臨床心理学D | | 2 |
| 臨床心理学E | | 2 |
| 臨床心理学F | | 2 |
| 【心理学特別講義科目】 | | |
| 比較心理学特講A | | 2 |
| 比較心理学特講B | | 2 |
| 心理学研究法特講 | | 2 |
| 応用心理学特講 | | 2 |
| 学校教育特講 | | 2 |
| 健康心理学A | | 2 |
| 健康心理学B | | 2 |
| 現代と心 | | 2 |
| 心理キャリア・ディベロップメントA | | 2 |
| 心理キャリア・ディベロップメントB | | 2 |
| 心理キャリア・ディベロップメントC | | 2 |
| 心理キャリア・ディベロップメントD | | 2 |
| 【演習科目】 | | |
| 心理コンピュータリテラシー | 1 | |
| 心理学プレ演習A | 1 | |
| 心理学プレ演習B | 1 | |
| 心理学演習I | 1 | |
| 心理学演習II | 1 | |
| 【関連科目】 | | |
| 社会学 | | 2 |
| 行動科学A | | 2 |
| 行動科学B | | 2 |
| 現代社会と福祉 | | 2 |
| 哲学概論 | | 2 |
| 経済学概論 | | 2 |
| 法学概論 | | 2 |
| 政治学概論 | | 2 |
| 表現と倫理 | | 2 |
| 現代思想 | | 2 |
| 世界の中の日本（歴史） | | 2 |
| 地域と環境 | | 2 |
| 日本地誌 | | 2 |
| 女性の歴史 | | 2 |
| 技術の歴史 | | 2 |
| アジアの歴史A | | 2 |
| ヨーロッパの歴史 | | 2 |
| 地域と都市 | | 2 |
| <卒業研究> | 4 | |

人文学部 心理学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|-----------------|---|-------------|--------------|------------------------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む） を含む] | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | | | 10 単位以上 |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | | 90 単位 以上 | | |
| | 心理学基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて 16 単位 以上取得し、そのうち「実習」を名称に 含む科目 6 単位以上 | | | |
| | 心理学専門 分野科目 | 認知心理系 | | | 各分野より 4 単位以上、合計で 24 単位 以上 |
| | | 教育・発達心理系 | | | |
| | | 社会・文化心理系 | | | |
| | | 臨床心理系 | | | |
| | 心理学特別講義科目 | 6 単位以上 | | | |
| | 演習科目 | 5 単位（必修） | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 卒業研究 | 4 単位（必修） | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 歴史地理学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| 上級日本語表現 | | 2 |
| ビジネススキルアップA | | 2 |
| ビジネススキルアップB | | 2 |
| インターンシップA | | 1 |
| インターンシップB | | 2 |
| 文系パソコン活用A | | 1 |
| 文系パソコン活用B | | 1 |
| 長期海外研修A | | 2 |
| 長期海外研修B | | 2 |
| 長期海外研修C | | 2 |
| 長期海外研修D | | 2 |
| 【基礎科目】 | | |
| 歴史学への案内 | 2 | |
| 地理学への案内 | 2 | |
| 文献講読の基礎 | 2 | |
| 地域調査の基礎 | 2 | |
| 【専門共通科目】 | | |
| 歴史学の方法 | | 2 |
| 世界の中の日本A (地理) | | 2 |
| 世界の中の日本B (歴史) | | 2 |
| 現代日本の地域性 | | 2 |
| 日本とアジアA (地理) | | 2 |
| 日本とアジアB (歴史) | | 2 |
| フィールドワークA | | 1 |
| フィールドワークB | | 1 |
| フィールドワークC | | 1 |
| 【歴史学分野】 | | |
| (テーマ科目) | | |
| 日本の古代 | | 2 |
| 日本の中世 | | 2 |
| 日本の近世 | | 2 |
| 日本の近代 | | 2 |
| 日本の現代 | | 2 |
| 日本思想史 | | 2 |
| アジアの歴史A | | 2 |
| アジアの歴史B | | 2 |
| アメリカの歴史 | | 2 |
| ヨーロッパの歴史A | | 2 |
| ヨーロッパの歴史B | | 2 |
| 技術の歴史 | | 2 |
| 女性の歴史 | | 2 |
| 交通の歴史 | | 2 |
| 郷土の歴史 | | 2 |
| 歴史学特殊講義A | | 2 |
| 歴史学特殊講義B | | 2 |
| 歴史学特殊講義C | | 2 |
| 歴史学特殊講義D | | 2 |
| (研究科目) | | |
| 日本古代中世史の文献を読む | | 2 |
| 日本近世史の文献を読む | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 日本近代史の文献を読む | | 2 |
| 日本現代史の文献を読む | | 2 |
| 日本思想史の文献を読む | | 2 |
| アジア史の文献を読むA | | 2 |
| アジア史の文献を読むB | | 2 |
| アメリカ史の文献を読む | | 2 |
| ヨーロッパ史の文献を読むA | | 2 |
| ヨーロッパ史の文献を読むB | | 2 |
| 技術から歴史を探る | | 2 |
| 美術から歴史を探る | | 2 |
| 地図から歴史を探る | | 2 |
| 史料学 | | 2 |
| 資料保存論 | | 2 |
| 史料講読基礎A | | 2 |
| 史料講読基礎B | | 2 |
| 【地理学分野】 | | |
| (テーマ科目) | | |
| 地域と歴史 | | 2 |
| 地域と都市 | | 2 |
| 地域と経済 | | 2 |
| 地域と産業 | | 2 |
| 地域と情報 | | 2 |
| 地域とまちづくり | | 2 |
| 地域と環境 | | 2 |
| 地理学特殊講義A | | 2 |
| 地理学特殊講義B | | 2 |
| 地理学特殊講義C | | 2 |
| 日本地誌 | | 2 |
| アジア地誌 | | 2 |
| 世界地誌 | | 2 |
| (実習科目) | | |
| 地理学実習 | | 1 |
| 地理学野外実習 | | 1 |
| (研究科目) | | |
| 地理学野外研究 | | 2 |
| 【演習科目】 | | |
| 基礎演習 | 1 | |
| 歴史学演習A | | 1 |
| 歴史学演習B | | 1 |
| 歴史学演習C | | 1 |
| 歴史学演習D | | 1 |
| 地理学演習A | | 1 |
| 地理学演習B | | 1 |
| 地理学演習C | | 1 |
| 地理学演習D | | 1 |
| 【関連科目】 | | |
| 政治学概論 | | 2 |
| 法学概論 | | 2 |
| 経済学概論 | | 2 |
| 文化人類学入門 | | 2 |
| 比較文化論 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 社会学 | | 2 |
| 民俗学入門A | | 2 |
| 民俗学入門B | | 2 |
| 考古学A | | 2 |
| 考古学B | | 2 |
| 現代と心 | | 2 |
| 行動科学Ⅰ | | 2 |
| 行動科学Ⅱ | | 2 |
| 表現と倫理 | | 2 |
| <卒業研究> | 4 | |

人文学部 歴史地理学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------|---|-------------|-----------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 18 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語必修科目 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 10 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | | | 90 単位 以上 | |
| | 基礎科目 | | 8 単位（必修） | | |
| | 専門共通科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 歴史学分野 | テーマ科目 | 歴史学分野より 6 単位以上、地理学分野より 6 単位以上、計 20 単位以上 | | |
| | | 研究科目 | | | |
| | 地理学分野 | テーマ科目 | | | |
| | | 研究科目 | | | |
| | | 実習科目 | | | |
| | 演習科目 | | | | 必修科目を含めて 5 単位以上 |
| 関連科目 | | | | | |
| 卒業研究 | | 4 単位（必修） | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 応用生物化学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【専門教育科目】 | | | ケミカルバイオロジー | | 2 |
| (学部基礎科目) | | | インターンシップA | | 1 |
| 基礎数学 | | 2 | インターンシップB | | 2 |
| 基礎化学 | | 2 | 微生物生態学 | | 2 |
| 基礎生物学 | | 2 | 応用生物化学セミナー | 1 | |
| 基礎地学 | | 2 | 天然物化学実験 | 1 | |
| 無機化学 | | 2 | 分子生物学実験 | 1 | |
| 有機化学Ⅰ | 2 | | 応用微生物学実験 | 1 | |
| 有機化学Ⅱ | 2 | | 遺伝子工学実験 | 1 | |
| 有機化学Ⅲ | | 2 | 卒業研究 | 4 | |
| 微生物学Ⅰ | 2 | | 卒業演習 | 2 | |
| 微生物学Ⅱ | | 2 | (関連科目) | | |
| 生物化学Ⅰ | 2 | | 環境問題入門 | | 2 |
| 生物化学Ⅱ | 2 | | 放射線安全管理学 | | 2 |
| 分子生物学Ⅰ | 2 | | 食品化学Ⅰ | | 2 |
| 分子生物学Ⅱ | 2 | | 食品化学Ⅱ | | 2 |
| 分析化学 | | 2 | 食品分析学 | | 2 |
| 推計学入門 | | 2 | 環境化学 | | 2 |
| 細胞生物学 | 2 | | 栄養生化学 | | 2 |
| 機器分析化学 | | 2 | 食品微生物学 | | 2 |
| 物理化学 | | 2 | 食品衛生学 | | 2 |
| 応用微生物学 | 2 | | 地球環境学 | | 2 |
| 科学ジャーナル講読 | | 2 | 食品機能学 | | 2 |
| 基礎物理学 | | 2 | 食品流通学 | | 2 |
| 生物倫理学 | | 2 | 環境動物学 | | 2 |
| 基礎生物学・基礎化学実験 | 1 | | 自然保護論 | | 2 |
| 分析化学実験 | 1 | | | | |
| 有機化学実験 | 1 | | | | |
| 微生物学実験 | 1 | | | | |
| 食品化学基礎実験 | 1 | | | | |
| 生物化学実験A | 1 | | | | |
| 生物化学実験B | 1 | | | | |
| 基礎物理学・基礎地学実験 | | 1 | | | |
| (学科専門科目) | | | | | |
| バイオの世界 | | 2 | | | |
| バイオ産業リスク予防学 | | 2 | | | |
| 生物情報リテラシー | | 2 | | | |
| 分子生理学 | | 2 | | | |
| 理論生物学 | | 2 | | | |
| 天然物化学 | 2 | | | | |
| 微生物遺伝学 | | 2 | | | |
| プログラミング | | 2 | | | |
| 生物有機化学 | | 2 | | | |
| 生体高分子学 | | 2 | | | |
| 遺伝子工学 | | 2 | | | |
| 動物細胞工学 | | 2 | | | |
| 植物細胞工学 | | 2 | | | |
| 応用タンパク質科学 | | 2 | | | |
| バイオインフォマティクス | | 2 | | | |
| 生体防御学 | | 2 | | | |
| 特許法概論 | | 2 | | | |

応用生物学部 応用生物化学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|---------|----------|---------|
| 全学共通教育科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部教育科目 | 学部基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 30 単位以上 | 82 単位以上 | | |
| | 関連科目 | | | | | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | | | 20 単位以上 |
| 卒業研究 (必修) | | | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 環境生物科学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【専門教育科目】 | | | 遺伝資源論 | | 2 |
| (学部基礎科目) | | | 応用園芸学 | | 2 |
| 基礎数学 | | 2 | インターンシップA | | 1 |
| 基礎化学 | | 2 | インターンシップB | | 2 |
| 基礎生物学 | | 2 | 環境生物科学セミナー | 1 | |
| 基礎地学 | | 2 | 環境植物学実験 | 1 | |
| 無機化学 | | 2 | 分子生物学実験 | 1 | |
| 有機化学Ⅰ | 2 | | 環境分析実験A | 1 | |
| 有機化学Ⅱ | 2 | | 環境分析実験B | 1 | |
| 有機化学Ⅲ | | 2 | 環境分析実験C | 1 | |
| 微生物学Ⅰ | 2 | | 卒業研究 | 4 | |
| 微生物学Ⅱ | | 2 | 卒業演習 | 2 | |
| 生物化学Ⅰ | 2 | | (関連科目) | | |
| 生物化学Ⅱ | 2 | | 放射線安全管理学 | | 2 |
| 分子生物学Ⅰ | 2 | | 食品化学Ⅰ | | 2 |
| 分子生物学Ⅱ | 2 | | 食品化学Ⅱ | | 2 |
| 分析化学 | | 2 | プログラミング | | 2 |
| 推計学入門 | | 2 | 食品衛生学 | | 2 |
| 細胞生物学 | 2 | | バイオ産業リスク予防学 | | 2 |
| 機器分析化学 | | 2 | 特許法概論 | | 2 |
| 物理化学 | | 2 | 生体防御学 | | 2 |
| 応用微生物学 | 2 | | バイオインフォマティクス | | 2 |
| 科学ジャーナル講読 | | 2 | | | |
| 基礎物理学 | | 2 | | | |
| 生物倫理学 | | 2 | | | |
| 基礎生物学・基礎化学実験 | 1 | | | | |
| 分析化学実験 | 1 | | | | |
| 有機化学実験 | 1 | | | | |
| 微生物学実験 | 1 | | | | |
| 食品化学基礎実験 | 1 | | | | |
| 生物化学実験A | 1 | | | | |
| 生物化学実験B | 1 | | | | |
| 基礎物理学・基礎地学実験 | | 1 | | | |
| (学科専門科目) | | | | | |
| 環境問題入門 | | 2 | | | |
| 環境生物学入門 | | 2 | | | |
| 自然保護論 | | 2 | | | |
| 地球環境学 | | 2 | | | |
| 植物生理学 | | 2 | | | |
| 環境化学 | | 2 | | | |
| 動物生理学 | | 2 | | | |
| 環境動物学 | | 2 | | | |
| 生態学概論 | | 2 | | | |
| 環境分析学 | | 2 | | | |
| 植物資源論 | | 2 | | | |
| 細胞工学 | | 2 | | | |
| 環境工学 | | 2 | | | |
| 水質浄化論 | | 2 | | | |
| 環境評価学 | | 2 | | | |
| バイオマス論 | | 2 | | | |
| 環境微生物学 | | 2 | | | |

応用生物学部 環境生物科学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|---------|----------|---------|
| 全学共通教育科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部教育科目 | 学部基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 30 単位以上 | 82 単位以上 | | |
| | 関連科目 | | | | | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | | | 20 単位以上 |
| 卒業研究 (必修) | | | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【専門教育科目】 | | | 食品栄養科学セミナー | 1 | |
| (学部基礎科目) | | | 食品学実験 | 1 | |
| 基礎数学 | | 2 | 食品分析学実験 | 1 | |
| 基礎化学 | | 2 | 食品栄養・機能学実験 | 1 | |
| 基礎生物学 | | 2 | 食品製造・加工学実習 | | 1 |
| 基礎地学 | | 2 | 卒業研究 | 4 | |
| 無機化学 | | 2 | 卒業演習 | 2 | |
| 有機化学Ⅰ | 2 | | (関連科目) | | |
| 有機化学Ⅱ | 2 | | 環境問題入門 | | 2 |
| 有機化学Ⅲ | | 2 | 放射線安全管理学 | | 2 |
| 微生物学Ⅰ | 2 | | 生物情報リテラシー | | 2 |
| 微生物学Ⅱ | | 2 | 環境化学 | | 2 |
| 生物化学Ⅰ | 2 | | 動物生理学 | | 2 |
| 生物化学Ⅱ | 2 | | 水質浄化論 | | 2 |
| 分子生物学Ⅰ | 2 | | 遺伝子工学 | | 2 |
| 分子生物学Ⅱ | | 2 | バイオインフォマティクス | | 2 |
| 分析化学 | | 2 | ケミカルバイオロジー | | 2 |
| 推計学入門 | | 2 | 地球環境学 | | 2 |
| 細胞生物学 | 2 | | 応用タンパク質科学 | | 2 |
| 機器分析化学 | | 2 | バイオマス論 | | 2 |
| 物理化学 | | 2 | 応用園芸学 | | 2 |
| 応用微生物学 | | 2 | | | |
| 科学ジャーナル講読 | | 2 | | | |
| 基礎物理学 | | 2 | | | |
| 生物倫理学 | | 2 | | | |
| 基礎生物学・基礎化学実験 | 1 | | | | |
| 分析化学実験 | 1 | | | | |
| 有機化学実験 | 1 | | | | |
| 微生物学実験 | 1 | | | | |
| 食品化学基礎実験 | 1 | | | | |
| 生物化学実験A | 1 | | | | |
| 生物化学実験B | 1 | | | | |
| 基礎物理学・基礎地学実験 | | 1 | | | |
| (専攻専門科目) | | | | | |
| 食糧問題入門 | | 2 | | | |
| 食品科学概論 | | 2 | | | |
| 食品栄養科学入門 | | 2 | | | |
| 食品化学Ⅰ | 2 | | | | |
| 食品化学Ⅱ | 2 | | | | |
| 食料資源論 | | 2 | | | |
| 食品分析学 | | 2 | | | |
| 食品リスク予防学 | | 2 | | | |
| 食品機能学 | | 2 | | | |
| 食品製造加工学 | | 2 | | | |
| 食品開発論 | | 2 | | | |
| 食品衛生学 | | 2 | | | |
| 食品微生物学 | | 2 | | | |
| 食品流通学 | | 2 | | | |
| 栄養生化学 | | 2 | | | |
| インターンシップA | | 1 | | | |
| インターンシップB | | 2 | | | |

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 履修方法（卒業レポート要件）

| | | | | | | |
|----------------------|-----------------|--|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 24 単位 以上 | 124 単位 以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語 スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | | | |
| | 外国語教育科目 | | | | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部基礎科目 | 専攻で定める必修科目を含めて | 30 単位 以上 | 82 単位 以上 | | |
| | 関連科目 | | | | | |
| | 専攻専門科目 | 専攻で定める必修科目を含めて | | | | 20 単位 以上 |
| 卒業研究 (必修) | | | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------|-----|----|----------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【専門教育科目】 | | | 健康心理学 | 2 | |
| 〔学部基礎科目〕 | | | 公衆衛生学 | 2 | |
| 基礎数学 | | 2 | (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち) | | |
| 基礎化学 | | 2 | 生化学Ⅰ | 2 | |
| 基礎生物学 | | 2 | 生化学Ⅱ | 2 | |
| 基礎地学 | | 2 | 基礎生化学実験 | 1 | |
| 無機化学 | | 2 | 生化学実験 | 1 | |
| 有機化学Ⅰ | | 2 | 形態機能学Ⅰ | 2 | |
| 有機化学Ⅱ | | 2 | 形態機能学Ⅱ | 2 | |
| 有機化学Ⅲ | | 2 | 形態機能学実験 | 1 | |
| 微生物学Ⅰ | | 2 | 運動生理学 | 2 | |
| 微生物学Ⅱ | | 2 | 臨床医科学Ⅰ | 2 | |
| 生物化学Ⅰ | | 2 | 臨床医科学Ⅱ | 2 | |
| 生物化学Ⅱ | | 2 | (食べ物と健康) | | |
| 分子生物学Ⅰ | | 2 | 食品学総論 | 2 | |
| 分子生物学Ⅱ | | 2 | 食品学各論 | 2 | |
| 分析化学 | | 2 | 食品安全学 | 2 | |
| 推計学入門 | | 2 | 食品学基礎実験 | 1 | |
| 細胞生物学 | | 2 | 食品機能学実験 | 1 | |
| 機器分析化学 | | 2 | 食品安全学実験 | 1 | |
| 物理化学 | | 2 | 食品分析学実験 | 1 | |
| 応用微生物学 | | 2 | 調理学 | 2 | |
| 科学ジャーナル講読 | | 2 | 基礎調理学実習 | 1 | |
| 基礎物理学 | | 2 | 応用調理学実習 | 1 | |
| 生物倫理学 | | 2 | 調理学実験 | 1 | |
| 基礎生物学・基礎化学実験 | | 1 | (基礎栄養学) | | |
| 分析化学実験 | | 1 | 基礎栄養学Ⅰ | 2 | |
| 有機化学実験 | | 1 | 基礎栄養学Ⅱ | 2 | |
| 微生物学実験 | 1 | | 栄養学実験 | 1 | |
| 食品化学基礎実験 | | 1 | (応用栄養学) | | |
| 生物化学実験A | | 1 | 応用栄養学 | 2 | |
| 生物化学実験B | | 1 | ライフステージ栄養学 | 2 | |
| 基礎物理学・基礎地学実験 | | 1 | スポーツ栄養学 | 2 | |
| 〔学科・専攻関連科目〕 | | | 応用栄養学実習 | 1 | |
| 食糧問題入門 | | 2 | (栄養教育論) | | |
| 環境問題入門 | | 2 | 栄養教育論 | 2 | |
| 食品栄養科学入門 | | 2 | 栄養カウンセリング論 | 2 | |
| 生物情報リテラシー | | 2 | 人間行動論 | 2 | |
| 環境化学 | | 2 | 栄養情報処理演習 | 1 | |
| 動物生理学 | | 2 | 栄養教育実習 | 1 | |
| 水質浄化論 | | 2 | (臨床栄養学) | | |
| 遺伝子工学 | | 2 | 臨床栄養学総論 | 2 | |
| バイオインフォマティクス | | 2 | 臨床栄養学各論 | 2 | |
| ケミカルバイオロジー | | 2 | 栄養アセスメント論 | 2 | |
| 地球環境学 | | 2 | 栄養ケアマネジメント論 | 2 | |
| 応用タンパク質科学 | | 2 | 臨床栄養学実習 | 1 | |
| バイオマス論 | | 2 | 臨床栄養管理実習 | 1 | |
| 応用園芸学 | | 2 | (公衆栄養学) | | |
| 〔専攻専門科目〕 | | | 公衆栄養学 | 2 | |
| (社会・環境と健康) | | | 公衆栄養活動論 | 2 | |
| 健康管理概論 | 2 | | 食事調査演習 | 1 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 公衆栄養学実習 (給食経営管理論) | 1 | |
| 給食経営管理論 | 2 | |
| フードマーケティング論 | 2 | |
| 給食経営管理基礎実習 | 1 | |
| 給食経営管理応用実習 (総合演習) | 1 | |
| 管理栄養士総合基礎演習 | 1 | |
| 管理栄養士総合応用演習 (臨地実習) | 1 | |
| 臨地実習事前事後演習 | 1 | |
| 臨地実習 (関連科目) | 4 | |
| 現代食育論 | | 2 |
| 海外研修 | | 2 |
| 食品機能学 | | 2 |
| 食品製造加工学 | | 2 |
| 栄養教育各論 | | 2 |
| 食品分析学 | | 2 |
| 社会福祉概論 | | 2 |
| 健康栄養学特論 | | 2 |
| 卒業演習 | | 2 |
| 卒業研究 | 4 | |

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 履修方法 (卒業の要件)

| | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|----------|----------|--|
| 全学共通教育科目 | 初年次教育科目 | 必修科目 1 単位 | | 22 単位以上 | 124 単位以上 | |
| | キャリア教育科目 | | | | | |
| | スキル教育科目 | 8 単位以上 | | | | |
| | 外国語教育科目 | [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | | | |
| | 教養課題教育科目 | 人文リテラシー | 12 単位以上 | | | |
| | | 社会リテラシー | | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | | |
| 健康とスポーツ | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | | | |
| スポーツ活動 | | | | | | |
| 学部教育科目 | 学部基礎科目 | 専攻で定める必修科目を含めて | 6 単位以上 | 102 単位以上 | | |
| | 学科・専攻関連科目 | | | | | |
| | 専攻専門科目 | 専攻で定める必修科目を含めて | 91 単位以上 | | | |
| 卒業研究 (必修) | | | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 生命医科学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | |
| (導入科目) | | |
| コンピュータ入門 | | 2 |
| コンピュータ活用 | | 2 |
| 文章表現 | | 2 |
| (基礎教養科目) | | |
| 文学への招待 | | 2 |
| 美術の思想と表現 | | 2 |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 |
| 映像の世界 | | 2 |
| 歴史に学ぶ | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 |
| 教育をみつめて | | 2 |
| 哲学の世界 | | 2 |
| 社会システム論 | | 2 |
| 心の科学 | | 2 |
| 生活環境と人間 | | 2 |
| 日本の憲法 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 |
| (専門基盤科目) | | |
| 数学の考え方 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 |
| 物理の世界 | | 2 |
| 化学の世界 | | 2 |
| 生物科学 | | 2 |
| 地球環境論 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | |
| スポーツ | | 1 |
| 【外国語スキル科目】 | | |
| (英語) | | |
| フレッシュマン英語A | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 |
| 総合英語A | | 1 |
| 総合英語B | | 1 |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 |
| パセオコンテンツ A | | 1 |
| パセオコンテンツ B | | 1 |
| (ドイツ語) | | |
| 入門ドイツ語 I | | 1 |
| 入門ドイツ語 II | | 1 |
| (中国語) | | |
| 入門中国語 I | | 1 |
| 入門中国語 II | | 1 |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | |
| (導入科目) | | |
| 生命科学入門 | | 1 |
| 医科学入門 | 1 | |
| 生涯発達看護論 | | 1 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 生と死の文化人類学 | | 2 |
| リハビリテーション概論 | | 1 |
| 生命工学入門 | | 1 |
| 生命医科学セミナーA (専門基礎系) | 1 | |
| 生命医科学セミナーB (生命医科専門系) | | 1 |
| (人体の構造と機能 I) | | |
| 解剖・組織学 | 2 | |
| 生理学 | 2 | |
| 生化学 | 2 | |
| 栄養治療学 | | 1 |
| 生命物理化学 | | 2 |
| 分子生物学概論 | 1 | |
| 臨床心理学 | | 2 |
| (疾病と障害の病態及び医療 I) | | |
| 病理学 | 2 | |
| 臨床病理学 | | 1 |
| 薬理学 | | 1 |
| 微生物学 | 2 | |
| 免疫学 | 1 | |
| 疾病病態学概論 | 2 | |
| 疾病治療学概論 | 2 | |
| 生体防御学 | | 1 |
| 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| (保健医療と社会 I) | | |
| 公衆衛生学 | | 2 |
| 環境衛生学 | 2 | |
| 学校保健学 | | 1 |
| 生命倫理学 | 1 | |
| 社会福祉学 | | 2 |
| 看護マネジメント論 | | 1 |
| 国際看護論 | | 1 |
| 【学科専門科目】 | | |
| 【先端生命医科学】 | | |
| (基礎領域) | | |
| 基礎生物学 | 2 | |
| 基礎化学 | 2 | |
| 基礎物理学 | | 2 |
| 基礎数学 | | 2 |
| 遺伝子操作論 | 1 | |
| 高分子医化学 | | 2 |
| ゲノム科学 | | 1 |
| 生命科学における方法論 | | 2 |
| 睡眠医学 | | 1 |
| (複合領域) | | |
| 生体高次構築科学 | | 1 |
| 生体高次情報科学 | | 1 |
| 分子感染論 | | 1 |
| 細胞基礎科学 | | 1 |
| 臨床血液学 | | 2 |
| 臨床生理学 | | 2 |
| 放射線医学総論 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (演習) | | |
| 病態解析医学演習 | | 1 |
| 分子制御医科学演習 | | 1 |
| 免疫・衛生学演習 | | 1 |
| 形態・病理学演習 | | 1 |
| 医用工学演習 | | 1 |
| 〔生命医科学技術総合実習〕 | | |
| (生体構造解析技術) | | |
| 組織・病理学基礎実習 | 2 | |
| 生体構築科学技術実習 | | 1 |
| (生体分子解析技術) | | |
| 生化学系基礎実習 | 2 | |
| 分子生物学基礎実習 | 2 | |
| 分子分析先端科学技術実習 | | 1 |
| (微生物・生体応答解析技術) | | |
| 実験動物・細胞科学技術実習 | 1 | |
| 微生物学実習 | | 2 |
| 免疫学実習 | | 1 |
| 環境衛生学実習 | | 1 |
| 人体情報学実習 | | 1 |
| (保健予防医科学) | | |
| 保健予防医科学総論 | 1 | |
| 感染症予防医科学 | | 1 |
| 腫瘍医学 | | 1 |
| 代謝性疾患予防医学 | | 1 |
| 環境因子誘導疾患予防医科学 | | 1 |
| 生活習慣病予防医科学 | | 1 |
| 老化基礎医科学 | | 1 |
| 医療情報・経済学 | | 1 |
| 環境・医療行政論 | | 2 |
| 精神医学 | | 1 |
| (保健予防薬・技術開発学) | | |
| 感染防御技術論 | | 1 |
| スポーツ医学 | | 1 |
| 予防栄養学 | | 1 |
| 保健予防創薬基礎学 | | 1 |
| (先端医用工学) | | |
| 生体力学 | | 2 |
| 医用細胞工学 | | 2 |
| バイオメディカルマテリアル学 | | 2 |
| 医療計測・情報学 | | 2 |
| 医用機器学 | | 2 |
| 先端医用工学実験 | | 2 |
| (総合演習・研究) | | |
| インターンシップ A | | 1 |
| インターンシップ B | | 2 |
| 保健医療関連施設見学実習 | | 1 |
| 臨床検査総合実習 | | 3 |
| 卒業演習 | 4 | |
| 卒業研究 | 4 | |

生命健康科学部 生命医科学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 128 単位以上 |
| | 基礎教養科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 25 単位以上 | 80 単位以上 |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 39 単位以上 | |
| | | 卒業研究（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 保健看護学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | |
| (導入科目) | | |
| コンピュータ入門 | | 2 |
| コンピュータ活用 | | 2 |
| 文章表現 | | 2 |
| (基礎教養科目) | | |
| 文学への招待 | | 2 |
| 美術の思想と表現 | | 2 |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 |
| 映像の世界 | | 2 |
| 歴史に学ぶ | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 |
| 教育をみつめて | | 2 |
| 哲学の世界 | | 2 |
| 社会システム論 | | 2 |
| 心の科学 | | 2 |
| 生活環境と人間 | | 2 |
| 日本の憲法 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 |
| (専門基盤科目) | | |
| 数学の考え方 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 |
| 物理の世界 | | 2 |
| 化学の世界 | | 2 |
| 生物科学 | | 2 |
| 地球環境論 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | |
| スポーツ | | 1 |
| 【外国語スキル科目】 | | |
| (英語) | | |
| フレッシュマン英語A | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 |
| 総合英語A | | 1 |
| 総合英語B | | 1 |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 |
| パセオコンテンツ A | | 1 |
| パセオコンテンツ B | | 1 |
| (ドイツ語) | | |
| 入門ドイツ語 I | | 1 |
| 入門ドイツ語 II | | 1 |
| (中国語) | | |
| 入門中国語 I | | 1 |
| 入門中国語 II | | 1 |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | |
| (導入科目) | | |
| 生命科学入門 | 1 | |
| 医科学入門 | | 1 |
| 生と死の文化人類学 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| リハビリテーション概論 | | 1 |
| 生命工学入門 | | 1 |
| 生命医科学セミナーA (専門基礎系) | 1 | |
| 生命医科学セミナーB (看護専門系) | | 1 |
| (人体の構造と機能 I) | | |
| 解剖学 | | 2 |
| 生理学 | | 2 |
| 生化学 | | 2 |
| 栄養治療学 | 1 | |
| 生命物理化学 | | 2 |
| 分子生物学概論 | | 1 |
| 臨床心理学 | 2 | |
| (疾病と障害の病態及び医療 I) | | |
| 病理学 | 2 | |
| 臨床病理学 | | 1 |
| 薬理学 | 2 | |
| 微生物学 | 2 | |
| 免疫学 | | 1 |
| 疾病病態学 A | 2 | |
| 疾病病態学 B | 1 | |
| 疾病治療学概論 | 2 | |
| 生体防御学 | | 1 |
| 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| (保健医療と社会 I) | | |
| 公衆衛生学 | 2 | |
| 環境衛生学 | | 2 |
| 生命倫理学 | | 1 |
| 社会福祉学 | 2 | |
| 【学科専門科目】 | | |
| (看護介入領域) | | |
| 看護学概論 | 2 | |
| 看護学概論演習 | 1 | |
| 看護アセスメント実習 | 1 | |
| 看護倫理学概論 | 1 | |
| 人間関係論演習 | 1 | |
| 生活援助技術実習 | 2 | |
| 治療支援技術実習 | 2 | |
| 看護過程演習 | 2 | |
| 成人慢性期看護学 I | 2 | |
| 成人慢性期看護学 II | 1 | |
| 成人急性期看護学 I | 2 | |
| 成人急性期看護学 II | 1 | |
| 成人看護学実習 | 1 | |
| 老年看護学 I | 1 | |
| 老年看護学 II | 2 | |
| 老年看護学 III | 1 | |
| 精神看護学 I | 2 | |
| 精神看護学 II | 1 | |
| 母性看護学 I | 2 | |
| 母性看護学 II | 2 | |
| 小児看護学 I | 1 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 小児看護学Ⅱ | 2 | |
| 小児看護学Ⅲ | 1 | |
| 在宅看護論Ⅰ | 1 | |
| 在宅看護論Ⅱ | 2 | |
| 在宅看護論Ⅲ | 1 | |
| 公衆衛生看護学概論 | 2 | |
| 公衆衛生看護支援論 | | 2 |
| 公衆衛生看護支援論演習 | | 1 |
| 公衆衛生看護活動展開論 | | 2 |
| 公衆衛生看護活動展開論演習 | | 1 |
| 公衆衛生看護管理論演習 | | 1 |
| 疫学・保健統計学Ⅰ | 2 | |
| 疫学・保健統計学Ⅱ | | 2 |
| 保健医療福祉行政論Ⅰ | 1 | |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ | | 2 |
| 学校保健学 | 1 | |
| 養護活動論 (実践領域) | | 2 |
| 生活援助臨地実習 | 1 | |
| 看護過程実践臨地実習 | 2 | |
| 成人慢性期看護学臨地実習 | 3 | |
| 成人急性期看護学臨地実習 | 3 | |
| 精神看護学臨地実習 | 2 | |
| 母性看護学臨地実習 | 2 | |
| 小児看護学臨地実習 | 2 | |
| 老年看護学臨地実習 | 4 | |
| 在宅看護論臨地実習 | 2 | |
| 公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ | | 4 |
| 公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ | | 1 |
| 総合看護臨地実習 (看護発展領域) | 2 | |
| 看護制度論 | 1 | |
| 看護マネジメント論 | 1 | |
| ターミナルケア論 | | 1 |
| 災害看護論 | 1 | |
| 国際看護論 | 1 | |
| 看護海外セミナー | | 2 |
| 総合看護論 | 2 | |
| 看護研究概論 | 2 | |
| 卒業研究 | 4 | |

生命健康科学部 保健看護学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|----------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 130 単位以上 |
| | 基礎教養科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 105 単位以上 | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 理学療法学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|------------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | | 生と死の文化人類学 | | 2 |
| (導入科目) | | | リハビリテーション概論 | 1 | |
| コンピュータ入門 | | 2 | 生命工学入門 | | 1 |
| コンピュータ活用 | | 2 | 生命医科学必修-A (専門基礎系) | 1 | |
| 文章表現 | | 2 | 生命医科学必修-B (理学療法専門系) | 1 | |
| (基礎教養科目) | | | (人体の構造と機能Ⅰ) | | |
| 文学への招待 | | 2 | 解剖・組織学 | 2 | |
| 美術の思想と表現 | | 2 | 生理学 | 1 | |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 | 生化学 | | 1 |
| 映像の世界 | | 2 | 栄養治療学 | | 1 |
| 歴史に学ぶ | | 2 | 生命物理化学 | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 | 分子生物学概論 | | 1 |
| 教育をみつめて | | 2 | 臨床心理学 | 1 | |
| 哲学の世界 | | 2 | (疾病と障害の病態及び医療Ⅰ) | | |
| 社会システム論 | | 2 | 病理学 | 1 | |
| 心の科学 | | 2 | 臨床病理学 | | 1 |
| 生活環境と人間 | | 2 | 薬理学 | | 1 |
| 日本の憲法 | | 2 | 微生物学 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 | 免疫学 | | 1 |
| (専門基盤科目) | | | 疾病病態学概論 | | 2 |
| 数学の考え方 | | 2 | 疾病治療学概論 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 | 生体防御学 | | 1 |
| 物理の世界 | | 2 | 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| 化学の世界 | | 2 | (保健医療と社会Ⅰ) | | |
| 生物科学 | | 2 | 公衆衛生学 | | 2 |
| 地球環境論 | | 2 | 環境衛生学 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | | 学校保健学 | | 1 |
| スポーツ | | 1 | 生命倫理学 | | 1 |
| 【外国語スキル科目】 | | | 社会福祉学 | | 1 |
| (英語) | | | 看護マネジメント論 | | 1 |
| フレッシュマン英語A | | 1 | 国際看護論 | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 | 【学科専門基礎科目】 | | |
| 総合英語A | | 1 | (人体の構造と機能Ⅱ) | | |
| 総合英語B | | 1 | 臨床解剖学 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 | 臨床解剖学実習 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 | 体表解剖及び実習 | | 1 |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 | 臨床生理学 | 1 | |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 | 臨床生理学実習 | 1 | |
| パセオコンテンツ A | | 1 | スポーツ医学 | | 1 |
| パセオコンテンツ B | | 1 | 予防栄養学 | | 1 |
| (ドイツ語) | | | 運動学 | 2 | |
| 入門ドイツ語Ⅰ | | 1 | 運動学実習 | 1 | |
| 入門ドイツ語Ⅱ | | 1 | 健康増進学 | | 1 |
| (中国語) | | | 人間発達学 | 1 | |
| 入門中国語Ⅰ | | 1 | 臨床心理学演習 | | 1 |
| 入門中国語Ⅱ | | 1 | (疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進) | | |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | | 内科学 | 1 | |
| (導入科目) | | | 外科学 | 1 | |
| 生命科学入門 | 1 | | 一般臨床医学 | 1 | |
| 医科学入門 | 1 | | 臨床神経学 | 2 | |
| 生涯発達看護論 | | 1 | 精神医学 | 2 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 老年医学 | 1 | |
| 整形外科学 | 2 | |
| 小児科学 | 1 | |
| 臨床検査総論 | | 1 |
| 放射線医学総論 | | 2 |
| (リハビリテーション医学) | | |
| リハビリテーション医学A(総論・神経系) | 1 | |
| リハビリテーション医学B(運動器等) | | 1 |
| 精神障害リハビリテーション | | 1 |
| リハビリテーション工学 | 1 | |
| リハビリテーション工学演習 | | 1 |
| 医療情報経済学 | | 1 |
| 環境・医療行政論 | | 2 |
| (医療英語) | | |
| 医療英語A(専門基礎系) | 1 | |
| 医療英語B(理学・作業専門系) | 1 | |
| 【学科専門科目】 | | |
| (基礎理学療法学) | | |
| 理学療法入門 | 2 | |
| 運動器構造計測学 | 2 | |
| 運動器構造計測学実習A(筋・骨格系) | 1 | |
| 運動器構造計測学実習B(神経・脈管系等) | 1 | |
| (理学療法評価学) | | |
| 理学療法評価学 | 2 | |
| 理学療法評価学演習 | 1 | |
| 理学療法評価学実習A(筋・骨格系) | 1 | |
| 理学療法評価学実習B(姿勢・運動系) | 1 | |
| (理学療法治療学) | | |
| 日常生活活動評価学 | 1 | |
| 日常生活活動治療学 | 1 | |
| 日常生活活動治療学演習 | 1 | |
| 運動障害理学療法学 | 2 | |
| 中枢神経障害治療学 | 1 | |
| 中枢神経障害理学療法学 | 1 | |
| 内部障害治療学 | 1 | |
| 内部障害理学療法学 | 1 | |
| スポーツ外傷系治療学 | 1 | |
| スポーツ外傷系理学療法学 | 1 | |
| 老年期障害治療学 | 1 | |
| 老年期障害理学療法学 | 1 | |
| 発達障害治療学 | 1 | |
| 発達障害理学療法学 | | 1 |
| ハンドセラピー学 | | 1 |
| 運動器系理学療法学実習 | 1 | |
| 中枢神経系理学療法学実習 | 1 | |
| 呼吸循環系理学療法学演習 | 1 | |
| メタボリック科学演習 | 1 | |
| スポーツ外傷系理学療法学演習 | 1 | |
| 老年期障害理学療法学実習 | 1 | |
| 発達障害理学療法学演習 | | 1 |
| 物理療法学 | 2 | |
| 物理療法学演習 | 1 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 義肢装具学 | 2 | |
| 義肢装具学演習 | 1 | |
| (地域理学療法学) | | |
| 地域リハビリテーション学 | 1 | |
| 地域理学療法学 | 1 | |
| 地域リハビリテーション学演習 | | 1 |
| 国際協力とリハビリテーション | | 1 |
| 生活環境論 | 1 | |
| 住環境整備入門 | 1 | |
| (臨床実習) | | |
| 臨床見学実習 | 1 | |
| 介護老人保健施設実習 | 1 | |
| 検査・測定実習 | 4 | |
| 評価実習 | | 2 |
| 総合臨床実習 | 12 | |
| (研究法) | | |
| 理学療法研究法 | | 2 |
| 統計学 | | 2 |
| 理学療法事例研究演習A(内部障害系) | | 1 |
| 理学療法事例研究演習B(筋骨格障害系) | | 1 |
| 理学療法事例研究演習C(中枢神経障害系) | | 1 |
| 卒業研究 | 4 | |

生命健康科学部 理学療法学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 128 単位以上 |
| | 基礎教養科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 14 単位以上 | 107 単位以上 |
| | 学科専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 25 単位以上 | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 68 単位以上 | |
| | | 卒業研究（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 作業療法学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|------------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | | 生と死の文化人類学 | | 2 |
| (導入科目) | | | リハビリテーション概論 | 1 | |
| コンピュータ入門 | | 2 | 生命工学入門 | | 1 |
| コンピュータ活用 | | 2 | 生命医科学セミナーA (専門基礎系) | 1 | |
| 文章表現 | | 2 | 生命医科学セミナーB (作業療法専門系) | 1 | |
| (基礎教養科目) | | | (人体の構造と機能Ⅰ) | | |
| 文学への招待 | | 2 | 解剖・組織学 | 2 | |
| 美術の思想と表現 | | 2 | 生理学 | 1 | |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 | 生化学 | | 1 |
| 映像の世界 | | 2 | 栄養治療学 | | 1 |
| 歴史に学ぶ | | 2 | 生命物理化学 | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 | 分子生物学概論 | | 1 |
| 教育をみつめて | | 2 | 臨床心理学 | 1 | |
| 哲学の世界 | | 2 | (疾病と障害の病態及び医療Ⅰ) | | |
| 社会システム論 | | 2 | 病理学 | 1 | |
| 心の科学 | | 2 | 臨床病理学 | | 1 |
| 生活環境と人間 | | 2 | 薬理学 | | 1 |
| 日本の憲法 | | 2 | 微生物学 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 | 免疫学 | | 1 |
| (専門基盤科目) | | | 疾病病態学概論 | | 2 |
| 数学の考え方 | | 2 | 疾病治療学概論 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 | 生体防御学 | | 1 |
| 物理の世界 | | 2 | 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| 化学の世界 | | 2 | (保健医療と社会Ⅰ) | | |
| 生物科学 | | 2 | 公衆衛生学 | | 2 |
| 地球環境論 | | 2 | 環境衛生学 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | | 学校保健学 | | 1 |
| スポーツ | | 1 | 生命倫理学 | | 1 |
| 【外国語スキル科目】 | | | 社会福祉学 | | 1 |
| (英語) | | | 看護マネジメント論 | | 1 |
| フレッシュマン英語A | | 1 | 国際看護論 | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 | 【学科専門基礎科目】 | | |
| 総合英語A | | 1 | (人体の構造と機能Ⅱ) | | |
| 総合英語B | | 1 | 臨床解剖学 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 | 臨床解剖学実習 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 | 体表解剖学及び実習 | | 1 |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 | 臨床生理学 | 1 | |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 | 臨床生理学実習 | 1 | |
| パセオコンテンツ A | | 1 | スポーツ医学 | | 1 |
| パセオコンテンツ B | | 1 | 予防栄養学 | | 1 |
| (ドイツ語) | | | 運動学 | 2 | |
| 入門ドイツ語Ⅰ | | 1 | 運動学実習 | 1 | |
| 入門ドイツ語Ⅱ | | 1 | 健康増進学 | | 1 |
| (中国語) | | | 人間発達学 | 1 | |
| 入門中国語Ⅰ | | 1 | 臨床心理学演習 | | 1 |
| 入門中国語Ⅱ | | 1 | (疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進) | | |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | | 内科学 | 1 | |
| (導入科目) | | | 外科学 | 1 | |
| 生命科学入門 | 1 | | 一般臨床医学 | 1 | |
| 医科学入門 | 1 | | 臨床神経学 | 2 | |
| 生涯発達看護論 | | 1 | 精神医学 | 2 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 老年医学 | 1 | |
| 整形外科学 | 2 | |
| 小児科学 | 1 | |
| 臨床検査総論 | | 1 |
| 放射線医学総論 | | 2 |
| (リハビリテーション医学) | | |
| リハビリテーション医学A(総論・神経系) | 1 | |
| リハビリテーション医学B(運動器等) | | 1 |
| 精神障害リハビリテーション | | 1 |
| リハビリテーション工学 | 1 | |
| リハビリテーション工学演習 | | 1 |
| 医療情報経済学 | | 1 |
| 環境・医療行政論 | | 2 |
| (医療英語) | | |
| 医療英語A(専門基礎系) | | 1 |
| 医療英語B(理学・作業専門系) | | 1 |
| 【学科専門科目】 | | |
| (基礎作業療法学) | | |
| 作業療法入門 | 2 | |
| 作業療法入門実習 | 1 | |
| 作業学講義 | 2 | |
| 作業学実習A(精神心理系) | 1 | |
| 作業学実習B(運動系) | 1 | |
| (作業療法評価学) | | |
| 運動障害評価学 | 1 | |
| 精神障害評価学 | 1 | |
| 運動障害評価学演習 | | 1 |
| 精神障害評価学演習 | | 1 |
| 運動障害評価学実習 | 1 | |
| 精神障害評価学実習 | 1 | |
| (作業治療学) | | |
| 運動障害作業療法学 | 2 | |
| 運動障害作業療法学演習 | 1 | |
| ハンドセラピー学 | | 1 |
| 中枢神経障害治療学 | 1 | |
| 中枢神経障害作業療法学 | 1 | |
| 中枢神経障害作業療法学演習 | 1 | |
| 内部障害治療学 | 1 | |
| 老年期障害治療学 | 1 | |
| 老年期障害作業療法学 | 1 | |
| 老年期障害作業療法学演習 | | 1 |
| 精神障害作業療法学 | 2 | |
| 精神障害作業療法学演習 | 1 | |
| 認知・高次脳機能障害作業療法学 | 1 | |
| SST入門 | | 1 |
| 発達障害治療学 | 1 | |
| 発達障害作業療法学 | 1 | |
| 発達障害作業療法学演習 | 1 | |
| 装具作業療法学 | 2 | |
| 装具作業療法学演習 | | 1 |
| 日常生活活動評価学 | 1 | |
| 日常生活活動支援学 | 1 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 日常生活活動支援学演習 | 1 | |
| 職業関連活動作業療法学 | 2 | |
| ジョブコーチ入門 | | 1 |
| (地域作業療法学) | | |
| 地域リハビリテーション学 | 1 | |
| 地域作業療法学 | 1 | |
| 地域作業療法学演習 | | 1 |
| ケアマネジメント入門 | | 1 |
| 特別支援教育と作業療法 | | 1 |
| 国際協力とリハビリテーション | | 1 |
| 生活環境論 | 1 | |
| 住環境整備入門 | | 1 |
| (臨床実習) | | |
| 臨床実習A(身障系評価) | 2 | |
| 臨床実習B(精神系評価) | 2 | |
| 臨床実習C(身障系総合) | 8 | |
| 臨床実習D(精神系総合) | 8 | |
| 地域作業療法臨床実習 | | 3 |
| (研究法) | | |
| 作業療法研究法 | 2 | |
| 統計学 | | 2 |
| 身体障害作業療法事例研究法演習 | | 1 |
| 精神障害作業療法事例研究法演習 | | 1 |
| 老年期障害作業療法事例研究法演習 | | 1 |
| 発達障害作業療法事例研究法演習 | | 1 |
| 高次脳機能作業療法事例研究法演習 | | 1 |
| 卒業研究 | 4 | |

生命健康科学部 作業療法学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 128 単位以上 |
| | 基礎教養科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 14 単位以上 | 107 単位以上 |
| | 学科専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 25 単位以上 | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 68 単位以上 | |
| | | 卒業研究（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 臨床工学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | | 生と死の文化人類学 | | 2 |
| (導入科目) | | | リハビリテーション概論 | | 1 |
| コンピュータ入門 | | 2 | 生命工学入門 | 1 | |
| コンピュータ活用 | | 2 | 生命医科学必修-A (専門基礎系) | 1 | |
| 文章表現 | | 2 | 生命医科学必修-B (臨床工学専門系) | 1 | |
| (基礎教養科目) | | | (人体の構造と機能Ⅰ) | | |
| 文学への招待 | | 2 | 解剖・組織学 | 2 | |
| 美術の思想と表現 | | 2 | 生理学 | 1 | |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 | 生化学 | 1 | |
| 映像の世界 | | 2 | 栄養治療学 | | 1 |
| 歴史に学ぶ | | 2 | 生命物理化学 | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 | 分子生物学概論 | | 1 |
| 教育をみつめて | | 2 | 臨床心理学 | | 1 |
| 哲学の世界 | | 2 | (疾病と障害の病態及び医療Ⅰ) | | |
| 社会システム論 | | 2 | 病理学 | 1 | |
| 心の科学 | | 2 | 臨床病理学 | | 1 |
| 生活環境と人間 | | 2 | 薬理学 | 1 | |
| 日本の憲法 | | 2 | 微生物学 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 | 免疫学 | 1 | |
| (専門基盤科目) | | | 疾病病態学概論 | | 2 |
| 数学の考え方 | | 2 | 疾病治療学概論 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 | 生体防御学 | | 1 |
| 物理の世界 | | 2 | 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| 化学の世界 | | 2 | (保健医療と社会Ⅰ) | | |
| 生物科学 | | 2 | 公衆衛生学 | 2 | |
| 地球環境論 | | 2 | 環境衛生学 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | | 学校保健学 | | 1 |
| スポーツ | | 1 | 生命倫理学 | 1 | |
| 【外国語スキル科目】 | | | 社会福祉学 | | 1 |
| (英語) | | | 看護マネジメント論 | | 1 |
| フレッシュマン英語A | | 1 | 国際看護論 | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 | 【学科専門基礎科目】 | | |
| 総合英語A | | 1 | (人体の構造と機能Ⅱ) | | |
| 総合英語B | | 1 | 基礎医学実習 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 | 臨床生理学 | 1 | |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 | (疾病と障害の病態と医療Ⅱ) | | |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 | 臨床薬理学 | | 1 |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 | 臨床微生物学 | | 1 |
| パセオコンテンツ A | | 1 | 内科学 | 1 | |
| パセオコンテンツ B | | 1 | 内分泌・腎臓内科学 | | 1 |
| (ドイツ語) | | | 臨床血液学 | 1 | |
| 入門ドイツ語Ⅰ | | 1 | 外科学 | 1 | |
| 入門ドイツ語Ⅱ | | 1 | 一般臨床医学 | | 1 |
| (中国語) | | | 臨床神経学 | | 2 |
| 入門中国語Ⅰ | | 1 | 老年医学 | | 1 |
| 入門中国語Ⅱ | | 1 | 小児科学 | | 1 |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | | 感染防御技術論 | 1 | |
| (導入科目) | | | 救急医学 | 1 | |
| 生命科学入門 | | 1 | 放射線医学総論 | 2 | |
| 医科学入門 | 1 | | 臨床検査総論 | 1 | |
| 生涯発達看護論 | 1 | | | | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-------------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (保健医療と社会Ⅱ) | | |
| 感染症予防医科学 | | 1 |
| 環境因子誘導疾患予防医科学 | | 1 |
| 生活習慣病予防医科学 | | 1 |
| 医療情報経済学 | | 1 |
| 環境・医療行政論 | | 2 |
| (臨床工学の基礎) | | |
| 応用数学 | 1 | |
| 電気工学Ⅰ | 2 | |
| 電気工学Ⅱ | 2 | |
| 電気工学Ⅲ | | 2 |
| 電子工学Ⅰ | 2 | |
| 電子工学Ⅱ | | 2 |
| 電気工学基礎実習 | 2 | |
| 電気工学実習 | 1 | |
| 電子工学実習 | 1 | |
| 機械工学 | 2 | |
| システム工学 | 2 | |
| 情報処理工学Ⅰ | 2 | |
| 情報処理工学Ⅱ | | 1 |
| 情報処理工学実習 | 1 | |
| (医療英語) | | |
| 医療英語A (専門基礎系) | | 1 |
| 医療英語B (臨床工学専門系) | 1 | |
| 【学科専門科目】 | | |
| (生体・医用工学) | | |
| バイオメディカルマテリアル | 2 | |
| 医用機器学概論 | 2 | |
| 生体力学 | 1 | |
| 物性工学 | 1 | |
| 計測工学 | 2 | |
| (医用機器学) | | |
| 医用治療機器学A (治療機器) | 2 | |
| 医用治療機器学B (手術用機器) | 1 | |
| 医用治療機器学実習 | 1 | |
| 生体計測装置学 | 1 | |
| 生体計測装置学実習 | 1 | |
| 医用生体学演習 | 1 | |
| (生体機能代行技術学) | | |
| 人工心肺装置学A (基礎・原理・操作方法) | 2 | |
| 人工心肺装置学B (心肺保護・補助循環・自己血回収) | 1 | |
| 人工心肺装置学実習 | 1 | |
| 血液浄化装置学A (血液透析・腹膜透析) | 2 | |
| 血液浄化装置学B (血漿交換・吸着療法) | 1 | |
| 血液浄化装置学実習 | 1 | |
| 人工呼吸装置学A (種類・原理・構造) | 2 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|----------------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 人工呼吸装置学B (周辺機器・患者管理) | 1 | |
| 人工呼吸装置学実習 (医用安全管理学) | 1 | |
| 医用機器安全管理学A (医用電気機器・医療ガスの安全管理) | 2 | |
| 医用機器安全管理学B (システム安全・電磁環境) | 1 | |
| 医用機器安全管理学実習 (臨床実習) | 1 | |
| 臨床実習A (血液浄化) | 3 | |
| 臨床実習B (オペ室) | 1 | |
| 臨床実習C (ICU) | 1 | |
| 臨床実習D (機器管理) (演習・研究) | 1 | |
| 総合基礎医学特論 | 2 | |
| 総合基礎工学特論 | 2 | |
| 臨床医学特論 | 2 | |
| 卒業研究 | 4 | |

生命健康科学部 臨床工学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 128 単位以上 |
| | 基礎教育科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 17 単位以上 | 107 単位以上 |
| | 学科専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 43 単位以上 | |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 47 単位以上 | |
| | | 卒業研究（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|--------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【教養教育科目】 | | | 生と死の文化人類学 | | 2 |
| (導入科目) | | | リハビリテーション概論 | | 1 |
| コンピュータ入門 | | 2 | 生命工学入門 | | 1 |
| コンピュータ活用 | | 2 | 生命医科学セミナ-A (専門基礎系) | 1 | |
| 文章表現 | | 2 | 生命医科学セミナ-B (スポーツ保健医療専門系) | | 1 |
| (基礎教養科目) | | | (人体の構造と機能 I) | | |
| 文学への招待 | | 2 | 解剖・組織学 | 2 | |
| 美術の思想と表現 | | 2 | 生理学 | 1 | |
| 音楽の表現と歴史 | | 2 | 生化学 | 1 | |
| 映像の世界 | | 2 | 栄養治療学 | 1 | |
| 歴史に学ぶ | | 2 | 生命物理化学 | | 2 |
| 民族と文化 | | 2 | 分子生物学概論 | | 1 |
| 教育をみつめて | | 2 | 臨床心理学 | | 1 |
| 哲学の世界 | | 2 | (疾病と障害の病態及び医療 I) | | |
| 社会システム論 | | 2 | 病理学 | 1 | |
| 心の科学 | | 2 | 臨床病理学 | | 1 |
| 生活環境と人間 | | 2 | 薬理学 | 1 | |
| 日本の憲法 | | 2 | 微生物学 | | 2 |
| 政治の世界 | | 2 | 免疫学 | 1 | |
| (専門基盤科目) | | | 疾病病態学概論 | | 2 |
| 数学の考え方 | | 2 | 疾病治療学概論 | | 2 |
| 統計の手法 | | 2 | 生体防御学 | | 1 |
| 物理の世界 | | 2 | 遺伝・実験動物学 | | 1 |
| 化学の世界 | | 2 | (保健医療と社会 I) | | |
| 生物科学 | | 2 | 公衆衛生学 | 2 | |
| 地球環境論 | | 2 | 環境衛生学 | | 2 |
| 健康科学 | 1 | | 学校保健学 | | 1 |
| スポーツ | | 1 | 生命倫理学 | 1 | |
| 【外国語スキル科目】 | | | 社会福祉学 | | 1 |
| (英語) | | | 看護マネジメント論 | | 1 |
| フレッシュマン英語A | | 1 | 国際看護論 | | 1 |
| フレッシュマン英語B | | 1 | 【学科専門科目】 | | |
| 総合英語A | | 1 | (保健医療を支える医学の基礎) | | |
| 総合英語B | | 1 | 基礎医学実習 | | 1 |
| パセオアカデミック L&S A | | 2 | 生体力学 | | 2 |
| パセオアカデミック L&S B | | 2 | 運動器バイオメカニクス | | 1 |
| パセオアカデミック R&W A | | 2 | 臨床解剖学 | | 1 |
| パセオアカデミック R&W B | | 2 | 臨床生理学 | | 1 |
| パセオコンテンツ A | | 1 | 障害者脳生理学 | | 1 |
| パセオコンテンツ B | | 1 | 臨床薬理学 | | 1 |
| (ドイツ語) | | | 臨床微生物学 | | 1 |
| 入門ドイツ語 I | | 1 | (保健医療に関わる臨床医学の基本) | | |
| 入門ドイツ語 II | | 1 | 内科学 | 2 | |
| (中国語) | | | 外科学 | 1 | |
| 入門中国語 I | | 1 | 臨床神経学 | | 2 |
| 入門中国語 II | | 1 | 精神医学 | 2 | |
| 【学部共通専門基礎科目】 | | | 老年医学 | | 1 |
| (導入科目) | | | 整形外科学 | 2 | |
| 生命科学入門 | | 1 | 小児科学 | | 1 |
| 医科学入門 | 1 | | 産婦人科学 | | 1 |
| 生涯発達看護論 | 1 | | 脳外科学 | | 1 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 放射線医学総論 | | 2 |
| 臨床検査総論 | | 1 |
| (保健医療に関わる救急医学) | | |
| 救急医学 | 2 | |
| 救急保健看護論 | | 1 |
| 救急救命模擬実習 | | 2 |
| スポーツ医学 | 1 | |
| 運動器障害救急医学 | 2 | |
| 運動器障害予防・処置法実習 | 2 | |
| 救急関連施設見学実習 | | 1 |
| 救急医学臨床実習 | | 2 |
| (保健医療の基本) | | |
| 予防医療総論 | 2 | |
| 健康管理・増進学 | 2 | |
| 保健心理学 | 2 | |
| 健康栄養医学 | 2 | |
| 生活不活発者の保健学 | 2 | |
| 高齢者保健論 | 1 | |
| ライフサイクル保健論 | 2 | |
| 保健医療教育論 | | 2 |
| 地域保健医療支援技術演習 | | 1 |
| (保健医療のための健康運動の理論) | | |
| 生涯スポーツ論 | 2 | |
| スポーツ科学概論 | 2 | |
| 運動生理学 | 2 | |
| 生体計測論・実技 | | 1 |
| スポーツ管理・経営学 | 2 | |
| 健康運動トレーニング論 | 2 | |
| 健康運動コーチング論 | 2 | |
| 健康運動上級コーチング論 | | 2 |
| (保健医療のための健康運動の実践指導) | | |
| 健康運動実習Ⅰ | 1 | |
| 健康運動実習Ⅱ | 2 | |
| フィットネス実習Ⅰ | 1 | |
| フィットネス実習Ⅱ | 1 | |
| 水泳指導論A | | 2 |
| 水泳指導論B | | 2 |
| 水泳指導実技 | | 2 |
| エアロビック指導論 | | 2 |
| エアロビック指導実技 | | 2 |
| レクリエーション指導論 | | 2 |
| レクリエーション指導実技 | | 2 |
| 障害者健康運動指導論・実技 | | 1 |
| (保健医療英語) | | |
| 保健医療英語 | | 2 |
| (演習・研究) | | |
| 総合スポーツ保健医療学演習 | 1 | |
| 卒業研究 | 4 | |
| 【関連科目】 | | |
| 救急医学臨床実習展開 | | 2 |

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | |
|--------|------------|--------------------|---------|----------|
| 教養教育科目 | 導入科目 | | 21 単位以上 | 128 単位以上 |
| | 基礎教養科目 | 8 単位以上 | | |
| | 専門基盤科目 | 必修科目を含めて 5 単位以上 | | |
| | 外国語スキル科目 | 4 単位以上（英語 4 単位を含む） | | |
| 専門教育科目 | 学部共通専門基礎科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 20 単位以上 | 87 単位以上 |
| | 学科専門科目 | 学科で定める必修科目を含めて | 67 単位以上 | |
| | | 卒業研究（必修） | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 幼児教育学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | |
| (基礎科目) | | |
| 教育研究入門 A | 2 | |
| 教育研究入門 B | 2 | |
| 多文化共生と教育 | | 2 |
| 人権教育論 | | 2 |
| 教育統計学基礎 | | 2 |
| 教育統計学 | | 2 |
| 教育ドラマ論 | | 2 |
| キャリアデザイン論 | | 2 |
| レクリエーション理論 | | 2 |
| 生涯学習論 | | 2 |
| (実践科目) | | |
| 教育ドラマ演習 | | 2 |
| 地域フィールドスタディ | | 2 |
| 教育データ解析 | | 2 |
| レクリエーション実技 | | 2 |
| ヒューマンリレーション演習 | | 1 |
| 器楽演奏実技 | | 1 |
| インターンシップ A | | 1 |
| インターンシップ B | | 2 |
| 【学科専門科目】 | | |
| (基幹科目) | | |
| 幼児教育課題研究 A | 2 | |
| 幼児教育課題研究 B | 2 | |
| 教職論 | 2 | |
| 教育原理 | 2 | |
| 教育心理学 | 2 | |
| 保育原理 | 2 | |
| 保育の心理学 A | | 2 |
| 保育の心理学 B | | 1 |
| 社会福祉 | | 2 |
| 児童家庭福祉 | | 2 |
| 社会的養護 | | 2 |
| 社会的養護内容 | | 1 |
| 家庭支援論 | | 2 |
| 子どもの保健 A | | 2 |
| 子どもの保健 B | | 2 |
| 子どもの保健 C | | 1 |
| 子どもの食と栄養 A | | 1 |
| 子どもの食と栄養 B | | 1 |
| 乳児保育 A | | 1 |
| 乳児保育 B | | 1 |
| 障害児の発達と理解 | | 2 |
| 障害児保育 A | | 1 |
| 障害児保育 B | | 1 |
| 相談援助 | | 1 |
| 保育相談支援 | | 1 |
| ソーシャルワーク実践と活用 | | 1 |
| 子ども発達支援 | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|-----------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (発展科目) | | |
| 教育と社会 | | 2 |
| 教育方法学 | 2 | |
| 教育課程論 | | 2 |
| 指導計画と評価 | | 2 |
| 幼児理解とカウンセリング | | 2 |
| 幼児造形 A | | 1 |
| 幼児造形 B | | 1 |
| 幼児体育 A | | 1 |
| 幼児体育 B | | 1 |
| 幼児音楽 A | | 1 |
| 幼児音楽 B | | 1 |
| 幼児音楽 C | | 1 |
| 幼児言語 | | 1 |
| 保育内容総論 A | | 1 |
| 保育内容総論 B | | 2 |
| 保育内容 (健康) | | 1 |
| 保育内容研究 (健康) | | 2 |
| 保育内容 (人間関係) | | 1 |
| 保育内容研究 (人間関係) | | 2 |
| 保育内容 (言葉) | | 1 |
| 保育内容研究 (言葉) | | 2 |
| 保育内容 (音楽表現) | | 1 |
| 保育内容研究 (音楽表現) | | 2 |
| 保育内容 (造形表現) | | 1 |
| 保育内容研究 (造形表現) | | 2 |
| 保育内容 (環境) | | 1 |
| 保育内容研究 (環境) | | 2 |
| 幼児生活研究 | | 2 |
| 現代食育論 | | 2 |
| 幼児遊び研究 | | 2 |
| 幼児外国語研究 | | 2 |
| 保育・教育インターンシップ | | 1 |
| 保育・教職実践演習 (幼稚園) | | 2 |
| (実習科目) | | |
| 教育実習指導 (幼稚園) | | 1 |
| 教育実習 (幼稚園) | | 4 |
| 保育実習指導 A | | 1 |
| 保育実習指導 B | | 1 |
| 保育実習 I | | 4 |
| 保育実習指導 C | | 1 |
| 保育実習 II | | 2 |
| 保育実習指導 D | | 1 |
| 保育実習 III | | 2 |
| <卒業研究> | 4 | |

現代教育学部 幼児教育学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------|---|-------------|--------------|
| 全学 共通 教育 科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 22 単位 以上 | 124 単位 以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 | | |
| | 外国語教育科目 | | [英語必修科目 2 単位、英語スキルⅢ又はⅣ、ポルトガル語入門Ⅰ又はⅡから 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | |
| | 教養課題 教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部 教育 科目 | 学部共通科目 | 基礎科目 | 必修科目 4 単位を含めて 10 単位以上 | 86 単位 以上 | |
| | | 実践科目 | | | |
| | 学科専門科目 | 基幹科目 | 必修科目 12 単位を含めて 24 単位以上 | | |
| | | 発展科目 | 必修科目 2 単位を含めて 26 単位以上 | | |
| | | 実習科目 | | | |
| 卒業研究 | 4 単位 | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 児童教育学科 教育科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 授 業 科 目 | 単位数 | |
|------------------|-----|----|--------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 | | 必修 | 選択 |
| 【学部共通科目】 | | | 社会科研究 | | 1 |
| (基礎科目) | | | 算数科研究 | | 1 |
| 教育研究入門A | 2 | | 理科研究 | | 1 |
| 教育研究入門B | 2 | | 生活科研究 | | 1 |
| 多文化共生と教育 | | 2 | 音楽科研究 | | 1 |
| 人権教育論 | | 2 | 体育科研究 | | 1 |
| 教育統計学基礎 | | 2 | 家庭科研究 | | 1 |
| 教育統計学 | | 2 | 図画工作研究 | | 1 |
| 教育ドラマ論 | | 2 | 国語科教育法 | | 2 |
| キャリアデザイン論 | | 2 | 社会科教育法 | | 2 |
| レクリエーション理論 | | 2 | 算数科教育法 | | 2 |
| 生涯学習論 | | 2 | 理科教育法 | | 2 |
| (実践科目) | | | 生活科教育法 | | 2 |
| 教育ドラマ演習 | | 2 | 音楽科教育法 | | 2 |
| 地域フィールドスタディ | | 2 | 体育科教育法 | | 2 |
| 教育データ解析 | | 2 | 家庭科教育法 | | 2 |
| レクリエーション実技 | | 2 | 図画工作教育法 | | 2 |
| ヒューマンリレーション演習 | | 1 | 道徳教育の指導法(小学校) | | 2 |
| 器楽演奏実技 | | 1 | 外国語活動の指導法 | | 2 |
| インターンシップA | | 1 | 生徒指導論(小学校) | | 2 |
| インターンシップB | | 2 | 特別活動指導法(小学校) | | 2 |
| 【学科専門科目】 | | | 教育相談(小学校) | | 2 |
| (基幹科目) | | | 小学校教育実習指導 | | 1 |
| 教職入門 | 2 | | 小学校教育実習 | | 4 |
| 教育原理(小・中) | 2 | | (中学校理科教育科目) | | |
| 教育心理学(小・中) | 2 | | 環境生物学入門 | | 2 |
| 教育方法学A | | 1 | 地球科学教育論 | | 2 |
| 教育方法学B | | 1 | 科学教育演習A(中学物理) | | 1 |
| 発達心理学 | | 2 | 科学教育演習B(中学化学) | | 1 |
| 教育課程論A | | 2 | 科学教育演習C(中学生物) | | 1 |
| 教育課程論B | | 2 | 科学教育演習D(中学地学) | | 1 |
| 学校心理学 | | 2 | 理科教育法Ⅰ(中学校) | | 2 |
| 地域教育支援論 | | 2 | 理科教育法Ⅱ(中学校) | | 2 |
| 発達臨床心理学 | | 2 | 理科教育法Ⅲ(中学校) | | 2 |
| 教育コンピュータ活用 | | 2 | 理科教育法Ⅳ(中学校) | | 2 |
| マイクロティーチング演習 | | 2 | 理科概論A(中学物理) | | 2 |
| 読書指導論 | | 2 | 理科概論B(中学化学) | | 2 |
| 対人関係論 | | 2 | 理科概論C(中学生物) | | 2 |
| 教育の方法と技術 | | 2 | 理科概論D(中学地学) | | 2 |
| 学校制度と社会 | | 2 | 理科実験A(中学物理) | | 1 |
| 言語表現法演習 | | 1 | 理科実験B(中学化学) | | 1 |
| 国際理解教育論A | | 2 | 理科実験C(中学生物) | | 1 |
| 国際理解教育論B | | 2 | 理科実験D(中学地学) | | 1 |
| 現代社会と教育A | | 2 | 理科特講A(中学物理) | | 2 |
| 現代社会と教育B | | 2 | 理科特講B(中学化学) | | 2 |
| キャリア開発A | | 1 | 理科特講C(中学生物) | | 2 |
| キャリア開発B | | 1 | 理科特講D(中学地学) | | 2 |
| 観察実習指導 | | 1 | 道徳教育の指導法(中学校) | | 2 |
| 観察実習 | | 1 | 生徒指導論(中学校) | | 2 |
| (小学校教育科目) | | | 特別活動指導法(中学校) | | 2 |
| 国語科研究 | | 1 | 教育相談(中学校) | | 2 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 中学校教育実習指導 | | 1 |
| 中学校教育実習 | | 4 |
| (特別支援教育科目) | | |
| 特別支援教育総論 | | 2 |
| 知的障害児の心理 | | 2 |
| 知的障害児の生理・病理 | | 2 |
| 知的障害児の教育A | | 2 |
| 知的障害児の教育B | | 2 |
| 肢体不自由児の生理と病理 | | 1 |
| 病弱児の生理と病理 | | 1 |
| 肢体不自由児の心理 | | 1 |
| 病弱児の心理 | | 1 |
| 肢体不自由児の教育 | | 2 |
| 病弱児の教育 | | 2 |
| 教育アセスメント | | 2 |
| 重複障害児の心理と教育 | | 1 |
| LD児の心理と教育 | | 1 |
| 視覚障害児の心理と教育 | | 1 |
| 聴覚障害児の心理と教育 | | 1 |
| 特別支援学校教育実習指導 | | 1 |
| 特別支援学校教育実習 | | 2 |
| (専門演習) | | |
| 児童教育課題研究A | 2 | |
| 児童教育課題研究B | 2 | |
| 教職実践演習(小・中) | | 2 |
| <卒業研究> | 4 | |

現代教育学部 児童教育学科 履修方法（卒業の要件）

| | | | | | |
|----------|----------|-----------------|---|---------|----------|
| 全学共通教育科目 | 初年次教育科目 | | 必修科目 1 単位 | 22 単位以上 | 124 単位以上 |
| | キャリア教育科目 | | | | |
| | スキル教育科目 | | 6 単位以上 [英語必修科目 2 単位、英語スキルⅢ又はⅣ、ポルトガル語入門Ⅰ又はⅡから 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む] | | |
| | 外国語教育科目 | | | | |
| | 教養課題教育科目 | 人文リテラシー | 14 単位以上 | | |
| | | 社会リテラシー | | | |
| | | 科学技術リテラシー | | | |
| | 特別課題教育科目 | | | | |
| 健康とスポーツ | | 必修科目を含めて 1 単位以上 | | | |
| スポーツ活動 | | | | | |
| 学部教育科目 | 学部共通科目 | 基礎科目 | 必修科目 4 単位を含めて 10 単位以上 | 86 単位以上 | |
| | | 実践科目 | | | |
| | 学科専門科目 | 基幹科目 | 必修科目 6 単位を含めて 16 単位以上 | | |
| | | 小学校教育科目 | | | |
| | | 中学校理科教育科目 | | | |
| | | 特別支援教育科目 | | | |
| | | 専門演習 | 必修科目を含めて 4 単位以上 | | |
| 卒業研究 | 4 単位 | | | | |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

教職に関する専門科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|--------------------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| (教職の意義等に関する科目) | | |
| 教職概論 | | 2 |
| (教育の基礎理解に関する科目) | | |
| 教育原理 | | 2 |
| 教育史 | | 2 |
| 教育心理 | | 2 |
| 教育心理学A | | 2 |
| 教育行政学 | | 2 |
| 教職と社会 | | 2 |
| 学校教育特講 | | 2 |
| (教育課程及び指導法に関する科目) | | |
| 教育課程論 | | 2 |
| 工業科教育法Ⅰ | | 2 |
| 工業科教育法Ⅱ | | 2 |
| 理科教育法Ⅰ | | 2 |
| 理科教育法Ⅱ | | 2 |
| 社会科・公民科教育法Ⅰ | | 2 |
| 社会科・公民科教育法Ⅱ | | 2 |
| 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ | | 2 |
| 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ | | 2 |
| 国語科教育法AⅠ | | 2 |
| 国語科教育法AⅡ | | 2 |
| 国語科教育法BⅠ | | 2 |
| 国語科教育法BⅡ | | 2 |
| 英語科教育法AⅠ | | 2 |
| 英語科教育法AⅡ | | 2 |
| 英語科教育法BⅠ | | 2 |
| 英語科教育法BⅡ | | 2 |
| 農業科教育法Ⅰ | | 2 |
| 農業科教育法Ⅱ | | 2 |
| 情報科教育法Ⅰ | | 2 |
| 情報科教育法Ⅱ | | 2 |
| 商業科教育法Ⅰ | | 2 |
| 商業科教育法Ⅱ | | 2 |
| 保健科教育法Ⅰ | | 2 |
| 保健科教育法Ⅱ | | 2 |
| 中国語科教育法Ⅰ | | 2 |
| 中国語科教育法Ⅱ | | 2 |
| 道徳教育の方法 | | 2 |
| 特別活動 | | 2 |
| 教育方法論 | | 2 |
| 教育心理学B | | 2 |
| (生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目) | | |
| 生徒指導 (進路指導を含む) | | 2 |
| 学校教育相談 (カウンセリングを含む) | | 2 |
| 臨床心理学F | | 2 |
| (教育実習) | | |
| 教育実習A | | 3 |
| 教育実習B | | 5 |

| 授 業 科 目 | 単位数 | |
|---------------|-----|----|
| | 必修 | 選択 |
| 養護実習 | | 5 |
| 教育実習 (栄養教諭) | | 2 |
| (教職実践科目) | | |
| 教職実践科目 (中・高) | | 2 |
| 教職実践科目 (養護教諭) | | 2 |
| 教職実践科目 (栄養教諭) | | 2 |
| (教科に関する科目) | | |
| 職業指導 | | 2 |
| 情報と産業 | | 2 |
| (養護に関する科目) | | |
| 養護活動論 | | 2 |

※ 授業科目の履修に関しては別に定める